



第41回全国高等学校総合文化祭

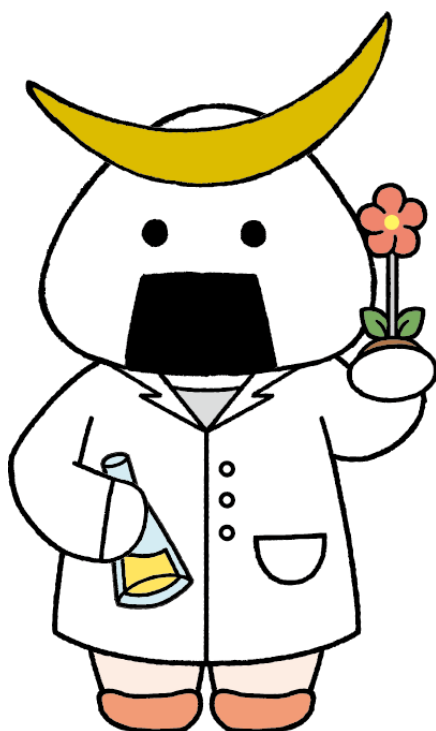
みやぎ総文 2017



集え伊達の地に創造の短冊に思いをのせて

平成29年7月31日（月）～8月4日（金）

自然科学部門 実施要領



開催日：平成29年8月2日（水）
～8月4日（金）

会 場：石巻専修大学
仙台国際センター

もくじ

目次	1
大会概要	2
大会役員一覧	4
審査員紹介	5
発表・審査・表彰について	6
審査規定	7
式次第	9
記念講演会講師紹介	10
発表校一覧	11
発表に関する留意事項	12
発表プログラム	13
ポスター配置図	25
生徒交流会・弁当配布	26
会場案内図	27
会場周辺図	30
巡検研修コース	31
巡検研修参加校一覧	33
巡検研修バス運行表	38
緊急時対応マニュアル	39

大会概要

【期 日】 平成 29 年 8 月 2 日(水) 10:30～18:30 [第 1 日・開会式]
 平成 29 年 8 月 3 日(木) 9:00～18:00 [第 2 日]
 平成 29 年 8 月 4 日(金) 9:30～12:30 [第 3 日・閉会式]

【会 場】 石巻専修大学
 〒986-8580 宮城県石巻市南境新水戸 1
 TEL 0225-22-7717 <http://www.senshu-u.ac.jp/ishinomaki/>

仙台国際センター

〒980-0856 仙台市青葉区青葉山無番地
 TEL 022-265-2211 <http://www.aobayama.jp/>

【日 程】 8 月 2 日(水)【第 1 日】
 9:30～10:20 受付
 10:30～11:10 開会式〔座席指定〕
 11:10～12:10 生徒交流会
 13:00～18:00 研究発表
 13:30～18:30 ポスター(パネル)発表

8 月 3 日(木)【第 2 日】
 9:00～11:00 研究発表
 9:00～11:00 ポスター(パネル)発表
 12:00～18:00 巡検研修

8 月 4 日(金)【第 3 日】
 9:30～11:00 記念講演
 11:20～12:30 表彰式・閉会式

【諸 会 議】 常任理事会
 日時 平成 29 年 8 月 1 日(火) 15:00～17:00
 場所 石巻グランドホテル 3F ローズ

理事会・総会
 日時 平成 29 年 8 月 4 日(金) 9:00～11:00
 場所 仙台国際センター 中会議室「白樫 2」

【会場一覧】 石巻専修大学

受付・総合案内所	4 号館 1 階エントランス
荷物置き場	4 号館 4103 教室・4104 教室
開会式・生徒交流会	森口記念館・4201 教室
研究発表・物理部門	4 号館 第 1 会場(A)4203 教室 第 2 会場(B)4204 教室
研究発表・化学部門	4 号館 第 1 会場(A)4201 教室 第 2 会場(B)4202 教室
研究発表・生物部門	4 号館 第 1 会場(A)4101 教室 第 2 会場(B)4102 教室
研究発表・地学部門	5 号館 第 1 会場(A)5302 教室 第 2 会場(B)5303 教室
ポスター(パネル)発表	5 号館 学生ホール
救護室	4 号館 4301 ゼミ教室
本部	4 号館 4302 ゼミ教室

仙台国際センター

記念講演・表彰式・閉会式	大ホール
荷物置き場	中会議室「白樫 1」

【巡検研修概要】

A-1 コース

東日本大震災被災講演と石巻専修大学理工学部研究室見学

会場 石巻専修大学森口記念館・学生実験室

A-2 コース

東日本大震災被災講演と日本製紙石巻工場見学

会場 石巻専修大学森口記念館・日本製紙石巻工場

B-1 コース

東北大学工学部研究室見学

会場 東北大学工学部

B-2 コース

東北大学理学部研究室見学

会場 東北大学理学部

B-3 コース

東北大学薬学部研究室見学

会場 東北大学薬学部

B-4 コース

東北大学農学部研究室見学

会場 東北大学農学部

B-5 コース

東北大学原子分子材料科学高等研究機構（AIMR）研究室見学

会場 東北大学原子分子材料科学高等研究機構（AIMR）

B-6 コース

東北大学災害科学国際研究所研究室見学

会場 石巻市街地・東北大学災害科学国際研究所

C-1 コース

生物フィールドワーク（伊豆沼）

会場 伊豆沼サンクチュアリセンター

C-2 コース

地学フィールドワーク（石巻・女川 沿岸部）

会場 石巻市南浜町・女川まちなか交流館

C-3 コース

地学フィールドワーク（松島・野蒜 沿岸部）

会場 東松島市奥松島縄文村歴史資料館他

C-4 コース

地学フィールドワーク（仙台市内地層見学・東北大学標本館）

会場 仙台市青葉区追廻他

C-5 コース

地学フィールドワーク（仙台市内化石採集）

会場 仙台市泉区焼河原

大会役員一覧

公益社団法人全国高等学校文化連盟正会員
高等学校文化連盟全国自然科学専門部

部会長	今井 靖	島根県立浜田高等学校長
副部会長	前田 理	広島県立可部高等学校長
副部会長	斉藤 繁	宮城県泉松陵高等学校長
副部会長	渡辺 藤夫	長野県飯山高等学校長
副部会長	西田 寛	佐賀県立唐津商業高等学校長
副部会長	村田 一弘	茨城県立日立第一高等学校長
事務局長	岩 義博	島根県立島根中央高等学校教諭
事務局次長	岡村 典夫	茨城県立土浦第三高等学校教諭

第 41 回全国高等学校総合文化祭宮城県実行委員会自然科学部門

部会長	斉藤 繁	宮城県泉松陵高等学校長
副部会長	三浦 孝洋	宮城県築館高等学校長
副部会長	庄子 英利	宮城県宮城第一高等学校長
副部会長	阿部 修一	宮城県古川黎明高等学校長
副部会長	山内 明樹	宮城県仙台二華高等学校長
副部会長	金 和宏	宮城県古川高等学校長
副部会長	瀬谷 和夫	宮城県石巻北高等学校長
部門代表委員	千葉 美智雄	宮城県仙台第三高等学校教諭

審査委員紹介

審査委員長	安藤 晃	東北大学大学院工学研究科 教授
研究発表 物理部門	吉原 章	石巻専修大学理工学部 教授
	内山 哲治	宮城教育大学教育学部 教授
	武田 元彦	宮城県立迫支援学校 校長 元宮城県教育委員会 指導主事
	加藤 徳善	宮城県仙台南高等学校 教頭
化学部門	山崎 達也	石巻専修大学理工学部 教授
	池山 剛	宮城教育大学教育学部 教授
	藤川 卓志	宮城県立古川支援学校校長 校長
	高梨 正博	宮城県水産高等学校 教頭 元宮城県教育委員会 指導主事
生物部門	芳賀 信幸	石巻専修大学理工学部 教授
	出口 竜作	宮城教育大学教育学部 教授
	小田 浩一	仙台城南高等学校 教諭 元宮城県仙台南高等学校 校長
地学部門	佐藤 周	宮城県宮城第一高等学校 教頭
	境田 清隆	東北大学 名誉教授
	山田 努	東北大学大学院理学研究科 助教
	伊藤 芳春	聖和学園高等学校 副校長 元宮城県宮城広瀬高等学校 校長 元宮城県教育委員会 指導主事
	小野 泰治郎	元宮城県気仙沼西高等学校 校長 元宮城県教育委員会 指導主事
ポスター（パネル）発表	安藤 晃	東北大学大学院工学研究科 教授
	渡辺 正夫	東北大学大学院生命科学研究科 教授
	渡辺 尚	宮城教育大学教育学部 准教授
	久利 美和	東北大学災害科学国際研究所 講師
	大坂 厚志	北海道長沼高等学校 教諭
	片山 泰成	長崎県立島原高等学校 教諭
	河北 薫	佐賀県立三養基高等学校 教諭
	荒川 忠彦	滋賀県立膳所高等学校 教諭

発表・審査・表彰について

1. 出場人数

- 発表1件につき、2名以内とします。

2. 研究発表の注意事項

- 発表時間は12分以内です。質疑応答は4分以内とします。
- 計時は、発表する学校名のアナウンス後、発表の第一声から開始します。
計時の開始時にベルを1回鳴らします。
10分経過後にベルを1回鳴らします。
12分経過後にベルを2回鳴らしますので速やかに発表を終了してください。
16分経過後にベルを3回鳴らし、質問の有無にかかわらず中止と致します。
- 発表終了後、質疑応答となりますが、質問は生徒と審査員からのみにかぎらせていただきます。

3. ポスター（パネル）発表時の注意事項

- 審査は1つの研究につき2度を予定しています。
1度目の審査は、1つの研究についておおむね10分程度で行います。
4分間のプレゼンテーションの後、4分程度の質疑応答とします。
計時の開始時にベルを1回鳴らします。
3分経過後にベルを1回鳴らします。
4分経過後にベルを2回鳴らします。速やかに発表を終了してください。
その後、4分程度の質疑応答をします。
計時の開始時と終了時にベルを鳴らします。
2度目の審査は4分程度の質疑応答のみとします。
- 会場は火気厳禁です。また、危険物並びに生きた動植物の持ち込みも原則禁止します。
- 投票について
ポスター（パネル）発表については、参加校が投票を行い、この結果をポスター（パネル）発表審査の平均点に加点します。
自分の学校の発表に投票することはできません。8月3日（木）10時までに投票してください。

4. 審査および表彰に関して

- 全国高等学校総合文化祭自然科学部門審査規定（p. 7～p. 8）により、審査を行います。
- 未加盟県からの発表はオープン参加とし、審査の対象とはしません。
- 下記のとおり表彰します。

研究発表

・最優秀賞（各部門1件）	賞状・盾・メダル
・優秀賞（各部門2件）	賞状
・奨励賞（各部門2件）	賞状
・文化連盟賞	賞状

ポスター（パネル）発表

・文部科学大臣賞（1件）	賞状・盾・メダル
・文化庁長官賞（2件）	賞状・盾・メダル
・奨励賞（5件）	賞状
・文化連盟賞	賞状

全国高等学校総合文化祭自然科学部門審査規定

1. 研究発表

(1) 研究発表は、制限時間内に研究内容・研究成果を、プレゼンテーションソフト等を用いて聴衆に説明する。その後、質疑応答を行う。

(2) 審査は、次のⅠ，Ⅱにより行われる。

Ⅰ. 発表前に提出された研究発表論文による事前審査（計10点）

a. 発表論文のまとめ方は適切であるか。（5点）

（調査・研究の目的や方法，情報の収集や処理，結果などの各項目が記載されているか）

b. 調査・研究の手段，情報処理などに創意工夫がなされているか。（5点）

（調査・研究法でのアイデア，調査結果・実験データ・各種資料の処理上でのアイデア）

Ⅱ. 発表会場における当日審査（計30点）

a. 発表の手段や方法は適切であったか。（10点）

（プレゼンテーションソフト，チャート，スライドなどの作成技術，使用法）

b. 発表の態度はどうであったか。（10点）

（発表時間は有効に使えたか，発表に説得力はあったか）

c. 調査・研究の結果に基づいた推論が出されているか。（10点）

（データに基づいた推論がなされているか，事実と仮定の区分は明確になされているか等）

(3) 研究発表論文はA4 2ページとし，書式等は別に定める。

(4) 審査委員一人あたり，事前審査10点，当日審査30点，合計40点を満点とする。

(5) 順位・受賞発表は，審査委員それぞれの得点合計をもとにして，審査委員会で決定する。

(6) 物理・化学・生物・地学の各4部門ごと，最上位を最優秀賞とする。2～3位に該当する2件を優秀賞とする。4～5位に該当する2件を奨励賞とする。

2. ポスター（パネル）発表

(1) ポスター（パネル）発表は、研究内容・研究成果を高さ 120cm×幅 180cm 内に展示し、プレゼンテーションを行って来場者にこれを説明し、質疑応答や意見交換を行う。

(2) 審査は、次のⅠ，Ⅱにより行われる。

Ⅰ．発表前に提出されたポスター（パネル）発表論文による事前審査（計 10 点）

a．発表論文のまとめ方は適切であるか。（5 点）

（調査・研究の目的や方法、情報の収集や処理、結果などの各項目が記載されているか）

b．調査・研究の手段、情報処理などに創意工夫がなされているか。（5 点）

（調査・研究法でのアイデア、調査結果・実験データ・各種資料の処理上でのアイデア）

Ⅱ．発表会場における当日審査（計 30 点）

a．説明、プレゼンテーションはわかりやすいか。（10 点）

（来場者に理解しやすいようなプレゼンテーションであるか、説得力はあるか）

b．展示物のレイアウト、見せ方に創意工夫がなされているか。（10 点）

（見やすい、わかりやすい、アイデアがうかがえる等）

c．質疑応答における回答は的確か。（10 点）

（研究内容等を理解した上での質疑応答になっているか、応答の丁寧さ）

(3) ポスター（パネル）発表論文は A4 2 ページとし、書式等は別に定める。

(4) 事前審査 10 点，当日審査 30 点，合計 40 点を満点とする。

(5) 各審査委員の得点を平均し、算出された平均点により審査を行う。

(6) 参加校からの投票結果を平均点に加点する。なお、この投票方式及び加点幅については、別に定める。

(7) 順位・受賞発表は、加点済の平均点をもとにして、審査委員会で決定する。

(8) 最上位を最優秀賞とする。2～3 位に該当する 2 件を優秀賞とする。4～8 位に該当する 5 件を奨励賞とする。

(9) 最優秀賞を文部科学大臣賞として申請する。優秀賞を文化庁長官賞として申請する。

式次第

【開会式】

日時 平成 29 年 8 月 2 日（水） 10:30～11:10

場所 石巻専修大学 森口記念館

開会宣言

生徒実行委員

全国自然科学専門部部会長あいさつ

今井 靖（島根県立浜田高等学校長）

歓迎のことば

亀山 紘（石巻市長）

尾池 守（石巻専修大学学長）

来賓・審査委員の紹介

生徒実行委員

生徒実行委員長あいさつ

相原 竜（宮城県仙台第三高等学校 3 年）

閉会宣言

生徒実行委員

【閉会式】

日時 平成 29 年 8 月 4 日（金） 11:20～12:30

場所 仙台国際センター 大ホール

開会宣言

生徒実行委員

審査結果発表

審査委員会

表彰

今井 靖（島根県立浜田高等学校長）

講評

審査委員長 安藤 晃（東北大学大学院工学研究科教授）

全国自然科学専門部部会長あいさつ

今井 靖（島根県立浜田高等学校長）

第 41 回全国高等学校総合文化祭(みやぎ総文 2017)自然科学部門部会長あいさつ

斉藤 繁（宮城県泉松陵高等学校長）

生徒実行委員長あいさつ

相原 竜（宮城県仙台第三高等学校 3 年）

閉会宣言

生徒実行委員

記念講演会講師紹介



講 師

東北大学災害科学国際研究所所長
災害リスク研究部門 津波工学研究分野 教授

今村 文彦 氏

日 時 平成 29 年 8 月 4 日（金） 9:30～11:00
場 所 仙台国際センター 大ホール
演 題 「東日本大震災の経験と教訓 — 知識は命を守る — 」

講師プロフィール

山梨県出身。

東北大学大学院工学研究科博士後期課程修了，工学博士。東北大学工学部土木工学科助手，東北大学大学院工学研究科附属災害制御研究センター助教授，同教授，東北大学災害科学国際研究所教授（副所長）を経て，現在，東北大学災害科学国際研究所所長。災害リスク研究部門津波工学研究分野は，工学的な立場から津波を研究する世界で唯一の研究組織。

高校生へのメッセージ

6 年前に発生した巨大地震と津波，そして原発事故，その発生の仕組みと被害拡大の過程を紹介したいと思います。被災地域では，いま復旧から復興の状況になっていますが，当時どのような経験をされたのか？そこからどのような教訓が得られたのか？紹介したい。今後も様々な自然災害が我が国で発生すると言われている。我々の命を守るための情報やさらには行動について一緒に考えたい。

発表校一覧

都道府県	研究発表				ポスター（パネル）発表
	物理部門	化学部門	生物部門	地学部門	
北海道	立命館慶祥高等学校	北海道旭川東高等学校	北海道札幌旭丘高等学校	北海道札幌藻岩高等学校	北海道札幌西高等学校
青森県	青森県立八戸高等学校	青森県立黒石高等学校	青森県立八戸高等学校	青森県立青森南高等学校	青森県立八戸高等学校
岩手県		岩手県立盛岡第三高等学校	岩手県立盛岡第三高等学校	岩手県立盛岡第三高等学校	岩手県立盛岡第一高等学校
宮城県	宮城県仙台第二高等学校	宮城県仙台第二高等学校	宮城県仙台第二高等学校	宮城県宮城第一高等学校	宮城県仙台第二高等学校
	宮城県仙台第三高等学校	宮城県仙台第三高等学校	宮城県仙台二華高等学校	宮城県仙台北高等学校	宮城県仙台第三高等学校
	宮城県仙台第三高等学校	宮城県古川高等学校	仙台市立仙台青陵中等教育学校	宮城県気仙沼高等学校	宮城県仙台第三高等学校
					宮城県宮城第一高等学校
秋田県			秋田県立秋田高等学校		秋田県立大館鳳鳴高等学校
山形県	山形県立鶴岡南高等学校	山形県立米沢興譲館高等学校	山形県立鶴岡南高等学校	山形県立鶴岡南高等学校	山形県立米沢興譲館高等学校
福島県	福島県立会津学鳳高等学校	福島県立安積黎明高等学校	福島県立会津学鳳高等学校	福島県立磐城高等学校	福島県立磐城高等学校
茨城県	茨城県立日立第一高等学校	茨城県立水戸第一高等学校	茗溪学園高等学校	茨城県立並木中等教育学校	茨城県立水戸第二高等学校
群馬県	群馬県立前橋女子高等学校	群馬県立高崎女子高等学校	群馬県立勢多農林高等学校	群馬県立太田女子高等学校	群馬県立利根実業高等学校
埼玉県	埼玉県立川越高等学校	埼玉県立大宮高等学校	埼玉県立本庄高等学校	埼玉県立浦和高等学校	埼玉県立坂戸高等学校
千葉県	市川学園市川高等学校	千葉県立佐倉高等学校	千葉県立柏中央高等学校	千葉県立佐倉高等学校	千葉県立船橋高等学校
東京都	東京都立科学技術高等学校	筑波大学附属駒場高等学校	日本大学豊山女子高等学校	海城高等学校	東京都立戸山高等学校
神奈川県	神奈川県立横浜修悠館高等学校		神奈川県立平塚中等教育学校		神奈川県立弥栄高等学校
新潟県	新潟県立新発田高等学校	新潟県立長岡高等学校	新潟県立長岡高等学校	新潟県立新潟中央高等学校	新潟県立柏崎高等学校
富山県	富山県立富山東高等学校	富山県立富山中部高等学校	富山県立富山中部高等学校	富山県立上市高等学校	富山県立富山中部高等学校
石川県	石川県立小松高等学校	石川県立金沢泉丘高等学校	石川県立金沢泉丘高等学校	石川県立七尾高等学校	石川県立七尾高等学校
山梨県	山梨県立韭崎高等学校	山梨県立甲府南高等学校	山梨県立笛吹高等学校	山梨県立都留高等学校	山梨県立韭崎高等学校
長野県	長野県駒ヶ根工業高等学校	長野県木曽青峰高等学校	長野県諏訪清陵高等学校	長野県飯山高等学校	長野県木曽青峰高等学校
岐阜県	岐阜県立多治見高等学校	岐阜県立関高等学校	岐阜県立加茂高校・岐阜県立八百津高校	岐阜県立岐山高等学校	岐阜県立岐阜高等学校
静岡県	静岡県立清水東高等学校	静岡県立三島北高等学校	静岡県立掛川西高等学校	静岡県立磐田南高等学校	静岡県立浜松北高等学校
滋賀県	滋賀県立膳所高等学校	滋賀県立彦根東高等学校	滋賀県立膳所高等学校	滋賀県立米原高等学校	滋賀県立河瀬高等学校
京都府	京都府立洛北高等学校	京都府立桃山高等学校	京都府立木津高等学校	京都府立桃山高等学校	京都府立園部高等学校
兵庫県	兵庫県立古川東高等学校	兵庫県立宝塚北高等学校	関西学院高等部	兵庫県立三田祥雲館高等学校	兵庫県立柏原高等学校
和歌山県	和歌山信愛高等学校	智辯学園和歌山高等学校	和歌山県立田辺高等学校	智辯学園和歌山高等学校	和歌山県立日高高等学校
島根県	島根県立島根中央高等学校	島根県立松江南高等学校	島根県立出雲高等学校	島根県立松江北高等学校	島根県立益田高等学校
広島県	広島県立広島国泰寺高等学校	広島県立広島国泰寺高等学校	広島県立広島国泰寺高等学校		広島県立広島国泰寺高等学校
山口県		山口県立柳井高等学校	高川学園高等学校	山口県立萩高等学校	山口県立徳山高等学校
徳島県	徳島県立脇町高等学校	徳島県立富岡東高等学校	徳島県立脇町高等学校		徳島県立城南高等学校
愛媛県	愛媛県立松山南高等学校	愛媛県立宇和島東高等学校	愛媛県立今治西高等学校	愛媛県立宇和島東高等学校	愛媛県立宇和島東高等学校
高知県				高知県立高知小津高等学校	高知県立高知小津高等学校
福岡県	福岡県立香住丘高等学校	福岡県立香住丘高等学校	福岡県立東筑高等学校	東筑紫学園高等学校	福岡県立宗像高等学校
佐賀県	佐賀県立唐津東高等学校	佐賀県立佐賀西高等学校	東明館高等学校	佐賀県立佐賀北高等学校	佐賀県立佐賀西高等学校
長崎県	長崎県立西陵高等学校	長崎県立長崎北高等学校	長崎県立長崎南高等学校		長崎県立長崎北陽台高等学校
熊本県	熊本県立宇土高等学校	熊本県立第二高等学校	熊本県立八代清流高等学校	熊本県立済々黌高等学校	熊本県立東稜高等学校
大分県	大分県立大分上野丘高等学校	大分県立大分上野丘高等学校	大分県立大分舞鶴高等学校	大分県立三重総合高等学校	大分県立佐伯鶴城高等学校
宮崎県	宮崎県立都農高等学校	宮崎県立都城ヶ丘高等学校	宮崎県立福島高等学校	宮崎県立五ヶ瀬中等教育学校	宮崎県立五ヶ瀬中等教育学校
鹿児島県	鹿児島県立国分高等学校	鹿児島県立鶴丸高等学校	鹿児島県立国分高等学校	鹿児島県立国分高等学校	鹿児島県立曾於高等学校
沖縄県	沖縄県立球陽高等学校	沖縄県立辺土名高等学校	沖縄県立八重山高等学校	沖縄県立名護高等学校	昭和薬科大学附属高等学校
参加校計	36校	37校	39校	35校	41校

発表に関する留意事項

研究発表の留意事項

- ア 物理，化学，生物，地学の部門ごとに分科会形式で行います。
- イ 発表時間は12分以内とし，4分程度の質疑応答を行います。
- ウ 英語等外国語による発表はできません。
- エ ノートパソコンは基本的に持参してください。液晶プロジェクターは，ミニD-Sub15pin端子によるVGA入力のみで，HDMI端子による入力はできません。HDMIの変換アダプターは参加校で準備してください。プロジェクターはWindowsパソコンに対応し，画面は4:3になります。
- オ 動作確認の時間は，次の通りです。ノートパソコンからの音声出力を行う必要がある場合は，動作確認時に申し出てください。
動作確認時間 8月2日（水） 9:30～10:15，12:30～12:50，18:00～18:30
- カ 会場備え付けのノートパソコンを使用する場合，データの記憶媒体は，ウイルス感染防止のため，CD-RまたはDVD-Rに限ります。USBフラッシュメモリ等は使用できません。また，提出された記憶媒体は返却しません。
- キ 会場備え付けのノートパソコンを使用する場合，ファイル名は
〔プログラムの番号 学校名 グループ名〕 としてください。
例 研究発表の物理部門の場合・・・物A01**高校**部
- ク 事前提出の発表用データに修正がある場合には，大会当日に差替えることができます。
- ケ ビデオ審査用の動画撮影を行います。発表者は会場で指定された場所に立って発表を行ってください。
- コ 論文集は発表1件につき2部しか配布されません。一般参観者向けも含め，論文を100部持参し，発表会場前の机の上に置いてください。

ポスター（パネル）発表の留意事項

- ア 1つの研究について2回審査を行い，1回目の審査は，4分以内のプレゼンテーションの後，4分程度の質疑応答とします。2回目の審査は，4分程度の質疑応答のみとします。
- イ 英語等外国語による発表はできません。
- ウ 規格は，高さ120cm×幅180cm内にポスター（パネル）を掲示します。印刷物の貼りつけには会場に備え付けのテープを使用してください。また，長机1脚を使用しての展示も可能です。なお，電源は使用できません。
- エ 発表時間は，8月2日は13:30～18:30，8月3日は9:00～11:00です。備え付けの「休憩中」の表示物を提示して，適宜休憩をとってください。
- オ 隣接する研究の審査のときは，審査を優先し，発表を一時中断して下さい。
- カ 論文集は発表1件につき2部しか配布されません。一般参観者向けも含め，論文を100部持参し，それぞれの長机の上に置いてください。

発表プログラム

研究発表 物理部門 第1会場 4203教室

8月2日(水)

NO	予定時間	都道府県	学校名	部・クラブ名	発表演題
物A01	13:00~13:16	宮城県	宮城県仙台第二高等学校	物理部	色のもつ光の熱変換
物A02	13:18~13:34	東京都	東京都立科学技術高等学校	科学研究部	凸凹な翼で飛行機を飛ばそう!
物A03	13:36~13:52	佐賀県	佐賀県立唐津東高等学校	科学部	高性能で安全なロケット ~Shape Innovation~
物A04	13:54~14:10	島根県	島根県立島根中央高等学校	自然科学部	落下する水柱がつくる円の研究 PART 2
休憩					
物A05	14:24~14:40	熊本県	熊本県立宇土高等学校	科学部物理班	“副実像”の写像公式化の研究 ~捉えた!ゴーストの出現位置~
物A06	14:42~14:58	岐阜県	岐阜県立多治見高等学校	科学部	熱音響の基礎的研究
物A07	15:00~15:16	千葉県	市川学園 市川高等学校	物理部	間欠泉に関する研究
物A08	15:18~15:34	青森県	青森県立八戸高等学校	自然科学部 物理班	アルソミトラの種子の飛行距離を伸ばす方法
休憩					
物A09	15:48~16:04	宮崎県	宮崎県立都農高等学校	天文科学部	都農高校から見た流れ星2 ~光度曲線から迫る流星の性質~
物A10	16:06~16:22	徳島県	徳島県立脇町高等学校	自然科学部	水面衝突時の放射音の特性
物A11	16:24~16:40	群馬県	群馬県立前橋女子高等学校	理科部	混雑時に出口から早く出るには
物A12	16:42~16:58	富山県	富山県立富山東高等学校	科学部	ガウス加速器の解明実験

8月3日(木)

NO	予定時間	都道府県	学校名	部・クラブ名	発表演題
物A13	9:00~ 9:16	宮城県	宮城県仙台第三高等学校	自然科学部 物理班	身近なものをを用いた加速度計の作製について
物A14	9:18~ 9:34	静岡県	静岡県立清水東高等学校	自然科学部 物理班	屈折率勾配を持つ溶液の結像性能の解析
物A15	9:36~ 9:52	福島県	福島県立会津学鳳高等学校	SSH 探求部	太陽電池の気特性自動評価システム 開発 —Arduino とリレー回路を使ったシステム作成—
物A16	9:54~10:10	京都府	京都府立洛北高等学校	サイエンス部 物理班	水切りの謎に迫る ~石の形状や回転数、質量による跳ねやすさの比較~
休憩					
物A17	10:24~10:40	大分県	大分県立大分上野丘高等学校	物理部	摩擦力に関する考察
物A18	10:42~10:58	山形県	山形県立鶴岡南高等学校	科学部	プロジェクト Eggs ~生卵とゆで卵の回転の違い~

発表プログラム

研究発表 物理部門 第2会場 4204 教室

8月2日(水)

NO	予定時間	都道府県	学校名	部・クラブ名	発表演題
物B01	13:00~13:16	宮城県	宮城県仙台第三高等学校	自然科学部物理班	圧電素子への力の加え方と電圧の関係について
物B02	13:18~13:34	鹿児島県	鹿児島県立国分高等学校	サイエンス部	グリーンフラッシュの謎にせまる。 ～モデル実験で分かった緑色光の発生機構～
物B03	13:36~13:52	長野県	長野県駒ヶ根工業高等学校	サイエンス同好会	無線ネットワークの動作解析と農業ハウスのIoT接続に関する研究
物B04	13:54~14:10	神奈川県	神奈川県立横浜修悠館高等学校	科学部	糸の強度に関する研究
休憩					
物B05	14:24~14:40	石川県	石川県立小松高等学校	理化部	減衰振動における空気抵抗力の性質について
物B06	14:42~14:58	和歌山県	和歌山信愛高等学校	科学部	空気砲から出る輪の不思議
物B07	15:00~15:16	愛媛県	愛媛県立松山南高等学校	SS物理水滴班	水滴は水面でどのようににはね返るのか
物B08	15:18~15:34	長崎県	長崎県立西陵高等学校	科学部	「うなり木」の研究
休憩					
物B09	15:48~16:04	埼玉県	埼玉県立川越高等学校	物理部	イオンクラフトの浮上力
物B10	16:06~16:22	北海道	立命館慶祥高等学校	自然科学部	美瑛「青い池」はなぜ青白いのか
物B11	16:24~16:40	福岡県	福岡県立香住丘高等学校	物理部	水溶液境界面の拡散速度の測定と溶質物性に関する研究
物B12	16:42~16:58	山梨県	山梨県立韮崎高等学校	物理化学部	ニュートンビーズの研究

8月3日(木)

NO	予定時間	都道府県	学校名	部・クラブ名	発表演題
物B13	9:00~ 9:16	広島県	広島県立広島国泰寺高等学校	科学部物理班	コヒーラ検波器による電波の検知に関する研究
物B14	9:18~ 9:34	兵庫県	兵庫県立加古川東高等学校	自然科学部物理班	微小重力下での濡れ性を利用した管内流の制御
物B15	9:36~ 9:52	新潟県	新潟県立新発田高等学校	自然科学部物理班	人工蜃気楼の反転像と全反射について
物B16	9:54~10:10	沖縄県	沖縄県立球陽高等学校	SS物理クラブ	沖縄方言と標準語の母音の比較
休憩					
物B17	10:24~10:40	茨城県	茨城県立日立第一高等学校	物理部	ガウス加速度の放出速度の決定とエネルギー収支について
物B18	10:42~10:58	滋賀県	滋賀県立膳所高等学校	物理地学班	液体の振動を利用した建築物の制震について

発表プログラム

研究発表 化学部門 第1会場 4201 教室

8月2日(水)

NO	予定時間	都道府県	学校名	部・クラブ名	発表演題
化 A01	13:00~13:16	宮城県	宮城県古川高等学校	総合科学部 化学班	ヨウ素時計反応の安定的な条件に関する研究
化 A02	13:18~13:34	沖縄県	沖縄県立辺土名高等学校	サイエンス 部河川班	辺土名高校周辺の河川調査 Vol. 11 ～水生生物と水質による環境評価～
化 A03	13:36~13:52	北海道	北海道旭川東高等学校	化学部	鉄-硝酸の化学振動
化 A04	13:54~14:10	静岡県	静岡県立三島北高等学校	科学部	海水淡水化装置の開発
休 憩					
化 A05	14:24~14:40	山形県	山形県立米沢興譲館高等学校	コアスーパーサ イエンスクラブ	焼成時間及び焼成温度が米粉 100%パ ンの製パン性に与える影響
化 A06	14:42~14:58	滋賀県	滋賀県立彦根東高等学校	SS 部化学班	メイラード反応の制御と応用
化 A07	15:00~15:16	佐賀県	佐賀県立佐賀西高等学校	サイエンス部	脂肪酸の単分子膜形成における疎水 基の効果
化 A08	15:18~15:34	山梨県	山梨県立甲府南高等学校	物質化学部	スズ化合物の光触媒効果の研究
休 憩					
化 A09	15:48~16:04	徳島県	徳島県立富岡東高等学校	化学研究部	酸化還元色素を用いた還元糖燃料電池
化 A10	16:06~16:22	岩手県	岩手県立盛岡第三高等学校	SS コース 化学班	不動態と硝酸濃度の関係について
化 A11	16:24~16:40	大分県	大分県立大分上野丘高等学校	化学部	水酸化鉄(Ⅲ)コロイドの研究
化 A12	16:42~16:58	茨城県	茨城県立水戸第一高等学校	化学部	酸化亜鉛の光触媒作用による有機化 合物の光分解反応
休 憩					
化 A13	17:12~17:28	兵庫県	兵庫県立宝塚北高等学校	化学部	糖類を定性的かつ簡単に判別できるか

8月3日(木)

NO	予定時間	都道府県	学校名	部・クラブ名	発表演題
化 A14	9:00~ 9:16	宮城県	宮城県仙台第三高等学校	自然科学部 化学班	結晶生成現象を利用したゲルの研究
化 A15	9:18~ 9:34	福岡県	福岡県立香住丘高等学校	化学部	高濃度溶液の凝固点降下 ～アルコール溶液について～
化 A16	9:36~ 9:52	千葉県	千葉県立佐倉高等学校	化学部	このガラス、安いです。 ～銅赤ガ ラス作製時における還元剤の比較～
化 A17	9:54~10:10	島根県	島根県立松江南高等学校	自然科学部	糸道湖ヘドロ電池の電圧回復
休 憩					
化 A18	10:24~10:40	福島県	福島県立安積黎明高等学校	化学部	キトサン修飾ゼオライトによる Cs ⁺ 、 Sr ²⁺ 吸着作用の評価
化 A19	10:42~10:58	岐阜県	岐阜県立関高等学校	自然科学部 化学班	金コロイドの性質と保護コロイドの 作製について

発表プログラム

研究発表 化学部門 第2会場 4202 教室

8月2日(水)

NO	予定時間	都道府県	学校名	部・クラブ名	発表演題
化 B01	13:00~13:16	宮城県	宮城県仙台第二高等学校	化学部	金属析出における溶媒の影響について
化 B02	13:18~13:34	新潟県	新潟県立長岡高等学校	生物部	コニシキソウに含まれる天然ゴム成分
化 B03	13:36~13:52	群馬県	群馬県立高崎女子高等学校	化学部	過酸化水素分解反応における触媒についての研究
化 B04	13:54~14:10	宮崎県	宮崎県立都城泉ヶ丘高等学校	化学部	シクロデキストリンのルミノール反応に与える影響
休 憩					
化 B05	14:24~14:40	山口県	山口県立柳井高等学校	物理化学部	濃硝酸と希硝酸の境界
化 B06	14:42~14:58	東京都	筑波大学附属駒場高等学校	化学部	メニスカスの形状について
化 B07	15:00~15:16	鹿児島県	鹿児島県立鶴丸高等学校	化学部	ヨウ素デンプン反応と塩素との関連性
化 B08	15:18~15:34	富山県	富山県立富山中部高等学校	SS(スーパーサイエンス)部	銅の腐食と起電力 ～異なる濃度の NaCl 水溶液と銅板を用いた電池～
休 憩					
化 B09	15:48~16:04	長野県	長野県木曽青峰高等学校	化学同好会	ウユニ塩原のトレミー塩に関する研究
化 B10	16:06~16:22	愛媛県	愛媛県立宇和島東高等学校	宇和島東高校 Oyster Girls	カキ殻粉末を用いた水質浄化 ー赤潮の未然防止に向けてー
化 B11	16:24~16:40	和歌山県	智辯学園和歌山高等学校	科学部	夢のマグネシウム電池について
化 B12	16:42~16:58	長崎県	長崎県立長崎北高等学校	理科部	着色料の研究 ～コチニールの繊維染色のしくみについて～

8月3日(木)

NO	予定時間	都道府県	学校名	部・クラブ名	発表演題
化 B13	9:00~ 9:16	青森県	青森県立黒石高等学校	自然科学部	R O S T (サビ)
化 B14	9:18~ 9:34	熊本県	熊本県立第二高等学校	化学部	銀鏡反応の謎に挑む part1
化 B15	9:36~ 9:52	広島県	広島県立広島国泰寺高等学校	科学部化学班	分子の構造と極性に関する研究
化 B16	9:54~10:10	石川県	石川県立金沢泉丘高等学校	S S H部	ZnOを用いた色素増感太陽電池の研究
休 憩					
化 B17	10:24~10:40	京都府	京都府立桃山高等学校	グローバルサイエンス部	液体が結晶化する不思議にせまる ーグリセリンとヘキシトールに注目してー
化 B18	10:42~10:58	埼玉県	埼玉県立大宮高等学校	自然科学部	逆トレミー塩(仮称)における諸相

発表プログラム

研究発表 生物部門 第1会場 4101 教室

8月2日(水)

NO	予定時間	都道府県	学校名	部・クラブ名	発表演題
生A01	13:00~13:16	宮城県	宮城県仙台二華高等学校	生物部	ヒドラの行動の研究2
生A02	13:18~13:34	長崎県	長崎県立長崎南高等学校	土橋バイオグループ	長崎県農産物キクイモの機能性解明と食品開発
生A03	13:36~13:52	兵庫県	関西学院高等部	理科部	近畿地方のシマドジョウ種群の分布と系統
生A04	13:54~14:10	新潟県	新潟県立長岡高等学校	生物部	耳の研究 ~なぜヒトは前後の音を聞き分けられるのか~
休憩					
生A05	14:24~14:40	山梨県	山梨県立笛吹高等学校	植物研究部	南方系の蝶ツマグロヒョウモンは本当に甲府盆地に定着したか? I 甲府盆地における本種の生活史を点検する
生A06	14:42~14:58	岩手県	岩手県立盛岡第三高等学校	SSコース生物班	スジエビの体色変化
生A07	15:00~15:16	石川県	石川県立金沢泉丘高等学校	SSH部	土壌と植物の生長
生A08	15:18~15:34	京都府	京都府立木津高等学校	科学部	クマムシ(真クマムシ綱)/肢ポンプシステムから樽化現象を考察する ~乾燥時間は自在に変えられる~
休憩					
生A09	15:48~16:04	鹿児島県	鹿児島県立国分高等学校	サイエンス部	屋久島方言で鳴くツクボウシの研究II ~幸屋火砕流による分布拡大仮説の検証と分布拡大経路の解明 ~
生A10	16:06~16:22	千葉県	千葉県立柏中央高等学校	科学部	土壌微生物を用いたバイオ水素生産の研究
生A11	16:24~16:40	秋田県	秋田県立秋田高等学校	生物部	突然変異抑制効果を持つ物質の探索
生A12	16:42~16:58	徳島県	徳島県立脇町高等学校	自然科学部	サボテンの温度ととげの関係性について
休憩					
生A13	17:12~17:28	愛媛県	愛媛県立今治西高等学校	生物部	クマムシの種による乾眠耐性の違いと蘇生要因
生A14	17:30~17:46	岐阜県	岐阜県立八百津高等学校 岐阜県立加茂高等学校(共同研究)	自然科学部	静かなる侵入者アルゼンチンアリ ~分布拡大への考察と行動学的研究~

8月3日(木)

NO	予定時間	都道府県	学校名	部・クラブ名	発表演題
生A15	9:00~ 9:16	宮城県	宮城県仙台第二高等学校	生物部	光の条件を変化させた場合の硝化作用のモデル実験
生A16	9:18~ 9:34	沖縄県	沖縄県立八重山高等学校	生物部	アンパル水系における魚類および甲殻類の生息状況
生A17	9:36~ 9:52	東京都	日本大学豊山女子高等学校	サイエンス部	茶の抗菌作用と抗酸化作用に関する検討
生A18	9:54~10:10	青森県	青森県立八戸高等学校	自然科学部生物班	レッドロビンの葉の色をコントロールすることは可能か
休憩					
生A19	10:24~10:40	広島県	広島県立広島国泰寺高等学校	科学部生物班	模擬微小重力環境におけるプラナリアの再生
生A20	10:42~10:58	長野県	長野県諏訪清陵高等学校	生物部	諏訪湖のプランクトンの季節変動とその要因

発表プログラム

研究発表 生物部門 第2会場 4102 教室

8月2日(水)

NO	予定時間	都道府県	学校名	部・クラブ名	発表演題
生 B01	13:00~13:16	宮城県	仙台市立仙台青陵中等教育学校	科学部	セルラーゼ遺伝子発現と酵素活性
生 B02	13:18~13:34	北海道	北海道札幌旭丘高等学校	生物部	自然界の薬剤耐性菌を探せ！！ ～トンボの糞から探る自然界における薬剤耐性菌の現状～
生 B03	13:36~13:52	熊本県	熊本県立八代清流高等学校	科学部	水辺に適応したオオタチヤナギ ～光形態形成からわかること～
生 B04	13:54~14:10	茨城県	茗溪学園高等学校	科学部生物班	根の触覚 ～ハツカダイコンの根にとって「障害物」とは何か～
休 憩					
生 B05	14:24~14:40	佐賀県	東明館高等学校	バイオ同好会	基山町の活性化を見据えた酵母菌の研究 ー基山町内から分離・選別した優良酵母による製パンへの応用ー
生 B06	14:42~14:58	静岡県	静岡県立掛川西高等学校	自然科学部	新品種カケガワザクラの起源を探る ～第5報～
生 B07	15:00~15:16	埼玉県	埼玉県立本庄高等学校	生物部	オカダンゴムシ (<i>Armadillidium vulgare</i>) の交替性転向反応のメカニズム及び記憶の解明
生 B08	15:18~15:34	福島県	福島県立会津学鳳高等学校	SSH 探求部	白色腐朽菌による木材からの糖の生成に関する研究
休 憩					
生 B09	15:48~16:04	滋賀県	滋賀県立膳所高等学校	生物班	琵琶湖淡水植物プランクトンの日周鉛直移動に関する実態把握と実験的観察
生 B10	16:06~16:22	島根県	島根県立出雲高等学校	自然科学部 生物班	淡水産単細胞性黄緑藻 <i>Ophiocytium capitatum</i> Wolle の形態変化とその分類について
生 B11	16:24~16:40	宮崎県	宮崎県立福島高等学校	科学部	環境指標生物ササラダニに関する研究
生 B12	16:42~16:58	山形県	山形県立鶴岡南高等学校	科学部	トリプルネガティブ乳がん(TNBC)におけるアプリロニンAの効果(研究計画段階)
休 憩					
生 B13	17:12~17:28	群馬県	群馬県立勢多農林高等学校	フードバイオ研究部	効果的な天然酵母の選抜と増殖

8月3日(木)

NO	予定時間	都道府県	学校名	部・クラブ名	発表演題
生 B14	9:00~ 9:16	和歌山県	和歌山県立田辺高等学校	生物部	和歌山県で野生化しているアフリカツメガエルの影響
生 B15	9:18~ 9:34	神奈川県	神奈川県立平塚中等教育学校	科学部生物班	ゴキブリの走光性について
生 B16	9:36~ 9:52	富山県	富山県立富山中部高等学校	SS(スーパーサイエンス)部	ホタルイカはどのような日に多く獲れるのか？
生 B17	9:54~10:10	福岡県	福岡県立東筑高等学校	生物部	コオロギの行動 24時間大追跡 ータイムラプスで分析する不思議な現象ー
休 憩					
生 B18	10:24~10:40	山口県	高川学園高等学校	科学部	オオサンショウウオの行動様式から希少性を検証 ーオオサンショウウオ <i>Andrias japonicus</i> の研究 (5) ー
生 B19	10:42~10:58	大分県	大分県立大分舞鶴高等学校	科学部生物班	高崎山のサルはヒトをどう見ているのか？ ～餌付けされたニホンザルのヒトに対する行動分析～

発表プログラム

研究発表 地学部門 第1会場 5302教室

8月2日(水)

NO	予定時間	都道府県	学校名	部・クラブ名	発表演題
地A01	13:00~13:16	宮城県	宮城県宮城第一高等学校	地学部	飛行機雲の消長と天気の関係について
地A02	13:18~13:34	岩手県	岩手県立盛岡第三高等学校	SSコース 地学班	三馬橋付近で見つけた岩手山岩屑なだれ堆積物について
地A03	13:36~13:52	滋賀県	滋賀県立米原高等学校	地学部	霊仙山周辺における縄文中期以降の植生的人為的変遷
地A04	13:54~14:10	福岡県	東筑紫学園高等学校	理科部	北九州平尾台カルスト 広谷湿原の復活(面積測量と地下水)
休憩					
地A05	14:24~14:40	福島県	福島県立磐城高等学校	天文地質部	鳴き砂海岸の起源
地A06	14:42~14:58	群馬県	群馬県立太田女子高等学校	理科学研究部	北海道釧路湿原コアの微化石について
地A07	15:00~15:16	山口県	山口県立萩高等学校	科学部	震源断層の応力分布の可視化 ～長門峡の河床露頭を例にして～
地A08	15:18~15:34	石川県	石川県立七尾高等学校	SSC	種類の異なる土壌間での緩衝能の違い
休憩					
地A09	15:48~16:04	新潟県	新潟県立新潟中央高等学校	地学部	海岸レキの形状から形成過程を探る ～糸魚川地区の海岸レキはどこからきたか～
地A10	16:06~16:22	山梨県	山梨県立都留高等学校	地球物理部	岩殿山を構成する岩殿山礫岩層の地質構造
地A11	16:24~16:40	鹿児島県	鹿児島県立国分高等学校	サイエンス部	桜島に現れる横一直線の雲の秘密に迫る！ ～始良カルデラが生み出す独特の雲～
地A12	16:42~16:58	埼玉県	埼玉県立浦和高等学校	地学部	地球照のスペクトル ～地球外生命体の探し方～

8月3日(木)

NO	予定時間	都道府県	学校名	部・クラブ名	発表演題
地A13	9:00~ 9:16	宮城県	宮城県気仙沼高等学校	自然科学部	季節による十八鳴浜の変化
地A14	9:18~ 9:34	宮崎県	宮崎県立五ヶ瀬中等教育学校	環境科学	蛇紋岩に関する研究
地A15	9:36~ 9:52	長野県	長野県飯山高等学校	自然科学部	ターコイズフリンジをISSでとらえる
地A16	9:54~10:10	茨城県	茨城県立並木中等教育学校	科学研究部	つくば市中心部におけるヒートアイランド現象の分析
休憩					
地A17	10:24~10:40	沖縄県	沖縄県立名護高等学校	生物・化学、 物理・地学部	沖縄県本部町塩川と今帰仁村湧川における塩水湧水の比較
地A18	10:42~10:58	高知県	高知県立高知小津高等学校	地学部	高高度発光現象のデータ分析

発表プログラム

研究発表 地学部門 第2会場 5303 教室

8月2日(水)

NO	予定時間	都道府県	学校名	部・クラブ名	発表演題
地 B01	13:00~13:16	宮城県	宮城県仙台西高等学校	地学部	宮城県内産出の珪藻化石群集で各地層の堆積年代・堆積環境を推定する
地 B02	13:18~13:34	大分県	大分県立三重総合高等学校	自然科学部	阿蘇溶結凝灰岩に対する酸性雨の影響
地 B03	13:36~13:52	愛媛県	愛媛県立宇和島東高等学校	宇和島東高校 チームマグマ	「マグマの分化」モデルをつくる ー混合溶液からの結晶析出ー
地 B04	13:54~14:10	岐阜県	岐阜県立岐山高等学校	地学物理部	継続観測による月の明部面積の変化
休 憩					
地 B05	14:24~14:40	千葉県	千葉県立佐倉高等学校	天文気象部	ヒートアイランドをクールに ～ヒートアイランド現象の原因と対策～
地 B06	14:42~14:58	富山県	富山県立上市高等学校	科学部	上市高校と魚津断層の位置関係
地 B07	15:00~15:16	山形県	山形県立鶴岡南高等学校	科学部	庄内平野における風の特徴と風力発電の分析
地 B08	15:18~15:34	和歌山県	智辯学園和歌山高等学校	科学部	食変光星アルゴルの観測データを用いた光度変化の分析
休 憩					
地 B09	15:48~16:04	京都府	京都府立桃山高等学校	グローバルサイエンス部	琵琶湖の上位蜃気楼観測をめざして
地 B10	16:06~16:22	青森県	青森県立青森南高等学校	自然科学部	飛行機雲の研究 ～上部対流圏の湿度の推定～
地 B11	16:24~16:40	兵庫県	兵庫県立三田祥雲館高等学校	天文部	太陽黒点とフレアの謎を追え！ ～宇宙天気予報への挑戦～
地 B12	16:42~16:58	熊本県	熊本県立済々黌高等学校	地学部	墓石倒壊から読む熊本地震の震度解析に関する研究

8月3日(木)

NO	予定時間	都道府県	学校名	部・クラブ名	発表演題
地 B13	9:00~ 9:16	島根県	島根県立松江北高等学校	自然科学部	黒曜石の”もろさ”と放射線量に関係はあるのか？
地 B14	9:18~ 9:34	佐賀県	佐賀県立佐賀北高等学校	地学部	ブロンドに負けない！～毛髪湿度計～
地 B15	9:36~ 9:52	北海道	北海道札幌藻岩高等学校	フィールドサイエンス部	4000 万年前の夕張の河畔植生の復元 ～幾春別層から産出する植物化石による古植生解析～
地 B16	9:54~10:10	東京都	海城高等学校	地学部	栃木県葛生地域に分布する礁性石灰岩の形成環境
休 憩					
地 B17	10:24~10:40	静岡県	静岡県立磐田南高等学校	地学部	縞構造を伴うエルブスとOHバンド大気光波動の同時観測及び大気光波動観測システムの改良

1次審査

8月2日（水）

NO	予定時間	都道府県	学校名	部・クラブ名	発表演題
P A01	13:30～13:38	佐賀県	佐賀県立佐賀西高等学校	サイエンス部	流星が酸素を光らせる！！3 ～回折格子による流星痕の分光観測～
P A02	13:40～13:48	宮城県	宮城県宮城第一高等学校	地学部	震源断層での固着すべりと岩石の性質の関係
P A03	13:50～13:58	埼玉県	埼玉県立坂戸高等学校	科学部	マグネシウム空気電池の開発と電池性能の研究
P A04	14:00～14:08	静岡県	静岡県立浜松北高等学校	物理化学部	鉛蓄電池の充放電効率 Part4 ～負極活物質改良による電池性能の向上～
休憩					
P A05	14:20～14:28	青森県	青森県立八戸高等学校	自然科学部 化学班	合成繊維の染色性と退色性
P A06	14:30～14:38	徳島県	徳島県立城南高等学校	科学部化学班	煎茶の劣化防止を目指して
P A07	14:40～14:48	兵庫県	兵庫県立柏原高等学校	理科部	チンダル現象を利用した水酸化物の溶解度積測定とその応用
P A08	14:50～14:58	沖縄県	大学法人昭和薬科大学 昭和薬科大学附属高等学校	科学部	花酵母の探索Ⅲ ～アルコール発酵能の測定～
休憩					
P A09	15:10～15:18	神奈川県	神奈川県立弥栄高等学校	サイエンス部	輝く青銅鏡を求めて ～配合比と冷却方法に関する考察～
P A10	15:20～15:28	長野県	長野県木曽青峰高等学校	物理同好会	ムペンバ効果に関する研究
P A11	15:30～15:38	鹿児島県	鹿児島県立曾於高等学校	科学部	連結ネオジウム磁石の不可解な動きについて ～蛇行運動の現象解明～
P A12	15:40～15:48	新潟県	新潟県立柏崎高等学校	生物部	魚の行動範囲を考慮した個体数推定
休憩					
P A13	16:00～16:08	広島県	広島県立広島国泰寺高等学校	科学部生物班	踊るウキウキ大調査せん！？
P A14	16:10～16:18	群馬県	群馬県立利根実業高等学校	生物資源部	赤城山におけるイノシシの行動調査 ー農業廃材を利用した侵入防護柵の実験ー
P A15	16:20～16:28	山形県	山形県立米沢興譲館高等学校	コアスーパーサイエンスクラブ	神経幹細胞用の新しい培養基板の研究 ～生体内環境模倣への挑戦～
P A16	16:30～16:38	山梨県	山梨県立韮崎高等学校	生物研究部	青色光によるハエの死亡原因は本当に酸化ストレスなのか
休憩					
P A17	16:50～16:58	滋賀県	滋賀県立河瀬高等学校	科学部	土壌から探る彦根山の環境変化 ～ササラダニ類の変化～
P A18	17:00～17:08	岩手県	岩手県立盛岡第一高等学校	生物部	北上川水系盛岡市中津川の底生動物相の現状及び1980年からの変容
P A19	17:10～17:18	愛媛県	愛媛県立宇和島東高等学校	生物部	来村川～薬師谷川水系に生息するヒラタカゲロウ科幼虫の棲み分けの理由を探る～生態・生理・形態・進化分類・分子系統学的アプローチより～
P A20	17:20～17:28	熊本県	熊本県立東稜高等学校	生物部	水生昆虫の飛翔前体温上昇行動
P A21	17:30～17:38	宮城県	宮城県仙台第三高等学校	自然科学部 生物班	仙台市海岸林におけるマツの菌根

2次審査

8月2日(水)

NO	予定時間	都道府県	学校名	部・クラブ名	発表演題
P A01	17:54~17:58	佐賀県	佐賀県立佐賀西高等学校	サイエンス部	流星が酸素を光らせる!! 3 ～回折格子による流星痕の分光観測～
P A02	18:00~18:04	宮城県	宮城県宮城第一高等学校	地学部	震源断層での固着すべりと岩石の性質の関係
P A03	18:06~18:10	埼玉県	埼玉県立坂戸高等学校	科学部	マグネシウム空気電池の開発と電池性能の研究
P A04	18:12~18:16	静岡県	静岡県立 浜松北高等学校	物理化学部	鉛蓄電池の充放電効率 Part4 ～負極活物質改良による電池性能の向上～
P A05	18:18~18:22	青森県	青森県立八戸高等学校	自然科学部 化学班	合成繊維の染色性と退色性
P A06	18:24~18:28	徳島県	徳島県立城南高等学校	科学部化学班	煎茶の劣化防止をめざして

8月3日(木)

NO	予定時間	都道府県	学校名	部・クラブ名	発表演題
P A07	9:00~ 9:04	兵庫県	兵庫県立柏原高等学校	理科部	チンダル現象を利用した水酸化物の溶解度積測定とその応用
P A08	9:06~ 9:10	沖縄県	大学法人昭和薬科大学 昭和薬科大学附属高等学校	科学部	花酵母の探索Ⅲ ～アルコール発酵能の測定～
P A09	9:12~ 9:16	神奈川県	神奈川県立弥栄高等学校	サイエンス部	輝く青銅鏡を求めて ～配合比と冷却方法に関する考察～
P A10	9:18~ 9:22	長野県	長野県木曽青峰高等学校	物理同好会	ムペンバ効果に関する研究
P A11	9:24~ 9:28	鹿児島県	鹿児島県立曾於高等学校	科学部	連結ネオジウム磁石の不可解な動きについて ～蛇行運動の現象解明～
休 憩					
P A12	9:45~ 9:49	新潟県	新潟県立柏崎高等学校	生物部	魚の行動範囲を考慮した個体数推定
P A13	9:51~ 9:55	広島県	広島県立広島国泰寺高等学校	科学部生物班	踊るウキウサ大調査せん!?
P A14	9:57~10:01	群馬県	群馬県立利根実業高等学校	生物資源部	赤城山におけるイノシシの行動調査 ー農業廃材を利用した侵入防護柵の実験ー
P A15	10:03~10:07	山形県	山形県立米沢興譲館高等学校	コアスーパーサイエンスクラブ	神経幹細胞用の新しい培養基板の研究 ～生体内環境模倣への挑戦～
P A16	10:09~10:13	山梨県	山梨県立韮崎高等学校	生物研究部	青色光によるハエの死亡原因は本当に酸化ストレスなのか
休 憩					
P A17	10:30~10:34	滋賀県	滋賀県立河瀬高等学校	科学部	土壌から探る彦根山の環境変化 ～ササラダニ類の変化～
P A18	10:36~10:40	岩手県	岩手県立盛岡第一高等学校	生物部	北上川水系盛岡市中津川の底生動物相の現状及び1980年からの変容
P A19	10:42~10:46	愛媛県	愛媛県立宇和島東高等学校	生物部	来村川～薬師谷川水系に生息するヒラタカゲロウ科幼虫の棲み分けの理由を探る～生態・生理・形態・進化分類・分子系統学のアプローチより～
P A20	10:48~10:52	熊本県	熊本県立東稜高等学校	生物部	水生昆虫の飛翔前体温上昇行動
P A21	10:54~10:58	宮城県	宮城県仙台第三高等学校	自然科学部 生物班	仙台市海岸林におけるマツの菌根

1次審査

8月2日（水）

NO	予定時間	都道府県	学校名	部・クラブ名	発表演題
P B01	13:30～13:38	宮崎県	宮崎県立五ヶ瀬中等教育学校	数理工学	焼畑の有無による土壌の変化の研究
P B02	13:40～13:48	宮城県	宮城県仙台第二高等学校	物理部	気柱共鳴実験にみる特異点
P B03	13:50～13:58	北海道	北海道札幌西高等学校	物理研究部	糖がベッコウアメになる様子をテラヘルツ波でとらえる
P B04	14:00～14:08	京都府	京都府立園部高等学校	サイエンス部	プロテアーゼ法によるカイコの繭の処理方法についての考察
休憩					
P B05	14:20～14:28	千葉県	千葉県立船橋高等学校	自然科学部 化学班	金属化合物を担持させた酸化チタンの光触媒活性
P B06	14:30～14:38	石川県	石川県立七尾高等学校	SSC	牛乳タンパク質の凝集について
P B07	14:40～14:48	島根県	島根県立益田高等学校	自然科学部	導電性フィルムを使った色素増感型太陽電池の作成
P B08	14:50～14:58	宮城県	宮城県仙台第三高等学校	自然科学部 化学班	銅樹の異方性の研究 ～もっと真っ直ぐ平らな面に！～
休憩					
P B09	15:10～15:18	高知県	高知県立高知小津高等学校	科学部	糖の還元能力について
P B10	15:20～15:28	茨城県	茨城県立水戸第二高等学校	数理科学同好会	閉鎖系 Belousov-Zhabotinsky 反応における酸素の影響
P B11	15:30～15:38	長崎県	長崎県立長崎北陽台高等学校	生物部	ヒジキの野外での生育状況と室内培養およびアラメの再生実験 ～藻場の再生を目指して～
P B12	15:40～15:48	秋田県	秋田県立大館鳳鳴高等学校	生物部	ニホンザリガニ保護プロジェクト
休憩					
P B13	16:00～16:08	富山県	富山県立富山中部高等学校	SS（スーパーサイエンス）部	酒造技術を応用したセルロースの糖化ーバイオエタノール生産に向けてー
P B14	16:10～16:18	東京都	東京都立戸山高等学校	SSH生物	バナナの長期保存方法の改良 ～湯煎によるバナナの追熟阻害に関する研究
P B15	16:20～16:28	大分県	大分県立佐伯鶴城高等学校	科学部	大分県指定天然記念物カマエカズラ（マメ科）の花・葉・種子の特徴について
P B16	16:30～16:38	山口県	山口県立徳山高等学校	科学部	タナゴの人工授精
休憩					
P B17	16:50～16:58	岐阜県	岐阜県立岐阜高等学校	自然科学部 生物班	守れ！ふるさとのカスミサンショウウオⅧ ～GISと環境DNAを用いた新規生息地の発見～
P B18	17:00～17:08	和歌山県	和歌山県立日高高等学校	日高高校生物部	日高平野におけるメダカの生態ー地域個体群保全に必要なことは何かー
P B19	17:10～17:18	福島県	福島県立磐城高等学校	生物部	アントシアニンの生成条件を探る
P B20	17:20～17:28	福岡県	福岡県立宗像高等学校	電気物理部	積み木の倒れ方に関する研究

2次審査

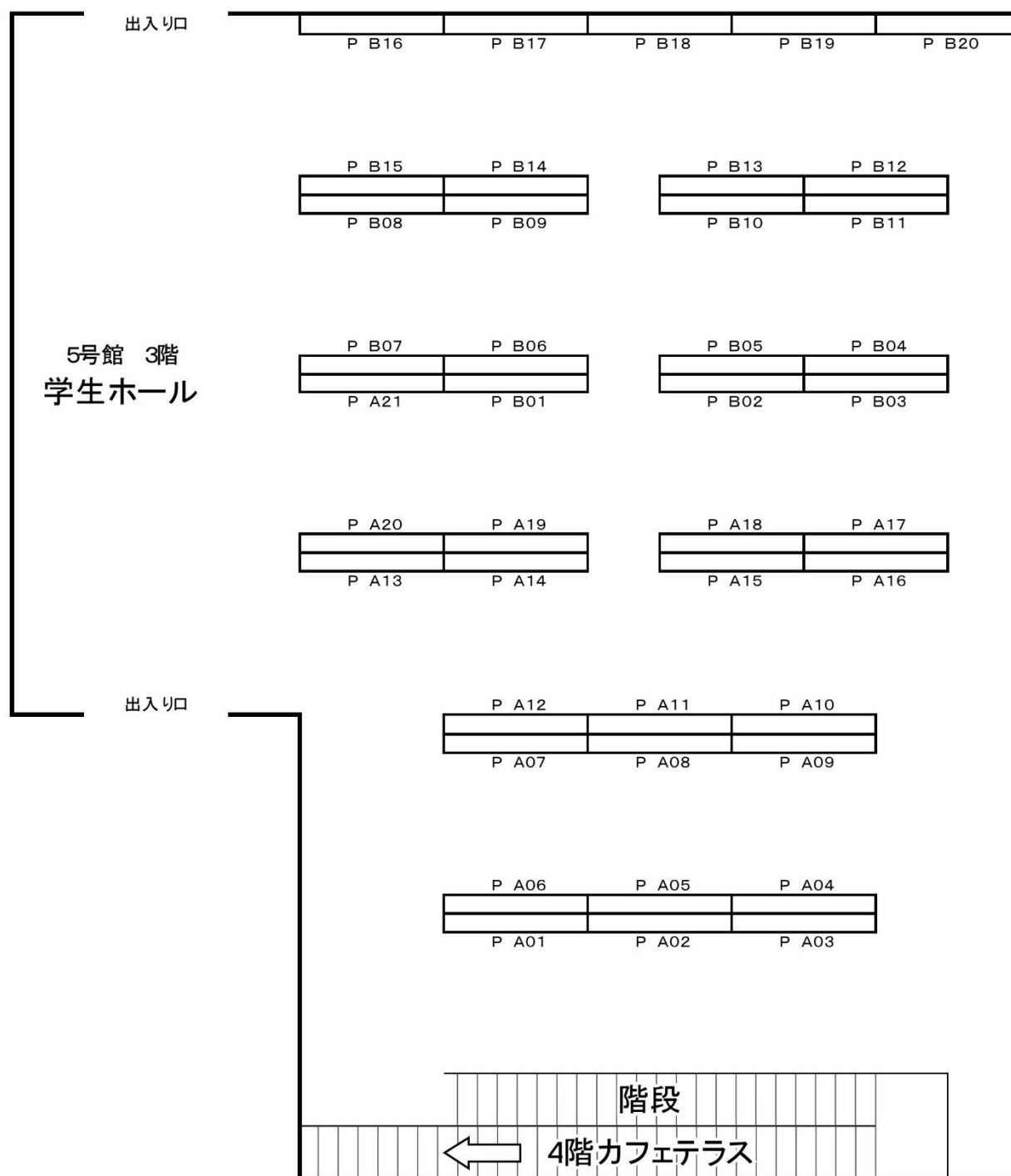
8月2日(水)

NO	予定時間	都道府県	学校名	部・クラブ名	発表演題
P B01	18:00~18:04	宮崎県	宮崎県立五ヶ瀬中等教育学校	数理工学	焼畑の有無による土壌の変化
P B02	18:06~18:10	宮城県	宮城県仙台第二高等学校	物理部	気柱共鳴実験にみる特異点
P B03	18:12~18:16	北海道	北海道札幌西高等学校	物理研究部	糖がベッコウアメになる様子をテラヘルツ波でとらえる
P B04	18:18~18:22	京都府	京都府立園部高等学校	サイエンス部	プロテアーゼ法によるカイコの繭の処理方法についての考察
P B05	18:24~18:28	千葉県	千葉県立船橋高等学校	自然科学部 化学班	金属化合物を担持させた酸化チタンの光触媒活性

8月3日(木)

NO	予定時間	都道府県	学校名	部・クラブ名	発表演題
P B06	9:00~ 9:04	石川県	石川県立七尾高等学校	S S C	牛乳タンパク質の凝集について
P B07	9:06~ 9:10	島根県	島根県立益田高等学校	自然科学部	導電性フィルムを使った色素増感型太陽電池の作成
P B08	9:12~ 9:16	宮城県	宮城県仙台第三高等学校	自然科学部 化学班	銅樹の異方性の研究 ～もっと真っ直ぐ平らな面に！～
P B09	9:18~ 9:22	高知県	高知県立高知小津高等学校	科学部	糖の還元能力について
P B10	9:24~ 9:28	茨城県	茨城県立水戸第二高等学校	数 理 科 学 同 好 会	閉鎖系 Belousov-Zhabotinsky 反応における酸素の影響
休 憩					
P B11	9:45~ 9:49	長崎県	長崎県立長崎北陽台高等学校	生物部	ヒジキの野外での生育状況と室内培養およびアラメの再生実験 ～藻場の再生を目指して～
P B12	9:51~ 9:55	秋田県	秋田県立大館鳳鳴高等学校	生物部	ニホンザリガニ保護プロジェクト
P B13	9:57~10:01	富山県	富山県立富山中部高等学校	S S (スーパーサイエンス) 部	酒造技術を応用したセルロースの糖化ーバイオエタノール生産に向けてー
P B14	10:03~10:07	東京都	東京都立戸山高等学校	S S H 生物	バナナの長期保存方法の改良 ～湯煎によるバナナの追熟阻害に関する研究
P B15	10:09~10:13	大分県	大分県立佐伯鶴城高等学校	科学部	大分県指定天然記念物カマエカズラ(マメ科)の花・葉・種子の特徴について
休 憩					
P B16	10:30~10:34	山口県	山口県立徳山高等学校	科学部	タナゴの人工授精
P B17	10:36~10:40	岐阜県	岐阜県立岐阜高等学校	自然科学部 生物班	守れ！ふるさとのカスミサンショウウオⅧ ～GISと環境DNAを用いた新規生息地の発見～
P B18	10:42~10:46	和歌山県	和歌山県立日高高等学校	日 高 高 校 生 物 部	日高平野におけるメダカの生態ー地域個体群保全に必要なことは何かー
P B19	10:48~10:52	福島県	福島県立磐城高等学校	生物部	アントシアニンの生成条件を探る
P B20	10:54~10:58	福岡県	福岡県立宗像高等学校	電気物理部	積み木の倒れ方に関する研究

ポスター配置図



生徒交流会

生徒交流会では「スタンプラリー」を行います。

研究発表の物理部門・化学部門・生物部門・地学部門およびポスター発表の5つの区分の中で、複数校で混合チームを作ります。

石巻専修大学の構内に設置したクイズを解いて回ります。上位入賞チームには表彰がありますよ！

会場の配置を確認しながら，研究の紹介，地域や学校，趣味の話題などの雑談を楽しんで，チーム内で交流を深めましょう。

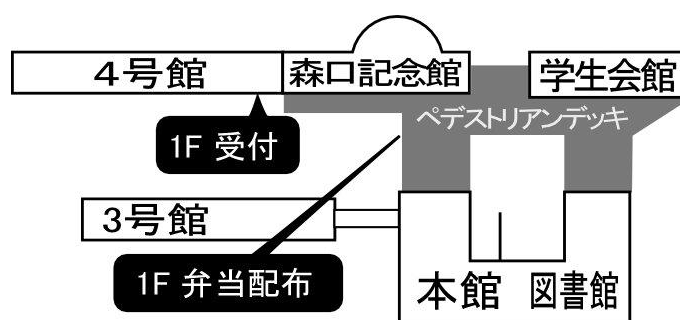
弁当の配布

宿泊等サポート室を通して注文した弁当は次のように配布します。

【弁当配布時間】

8月2日（水）11:45～12:45

8月3日（木）10:45～11:45

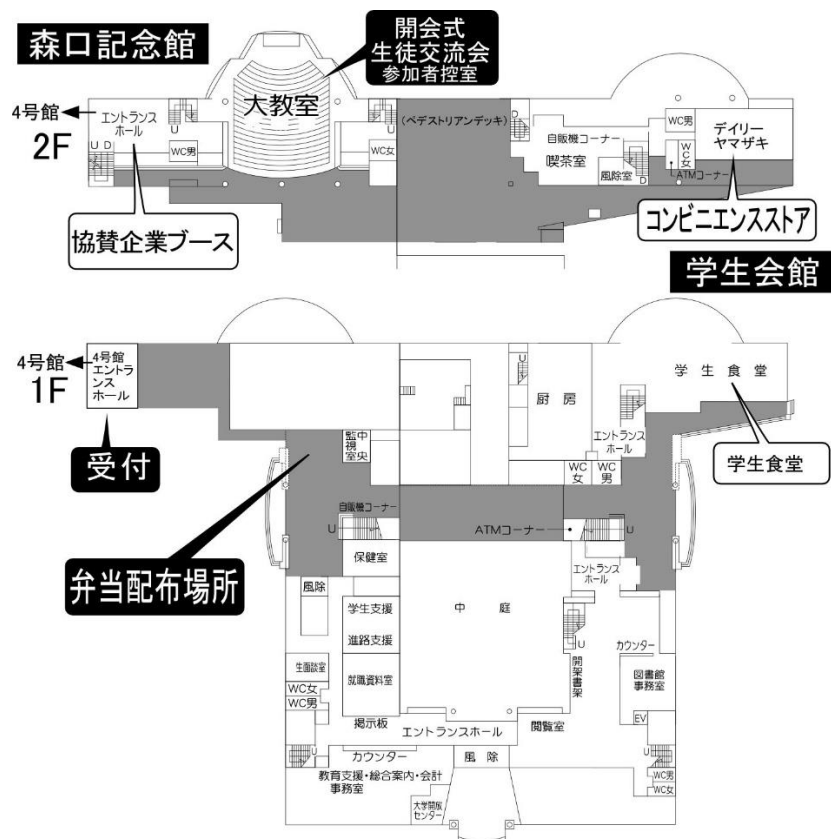
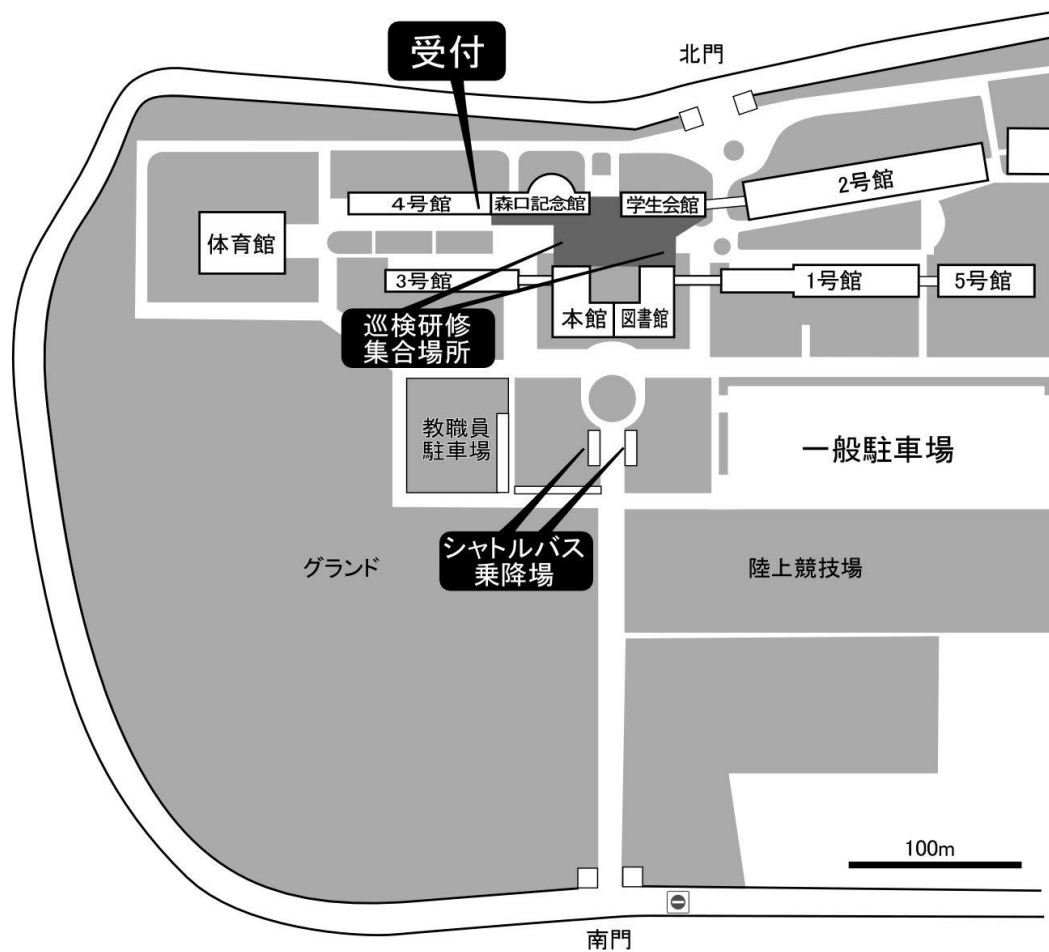


【弁当配布場所】

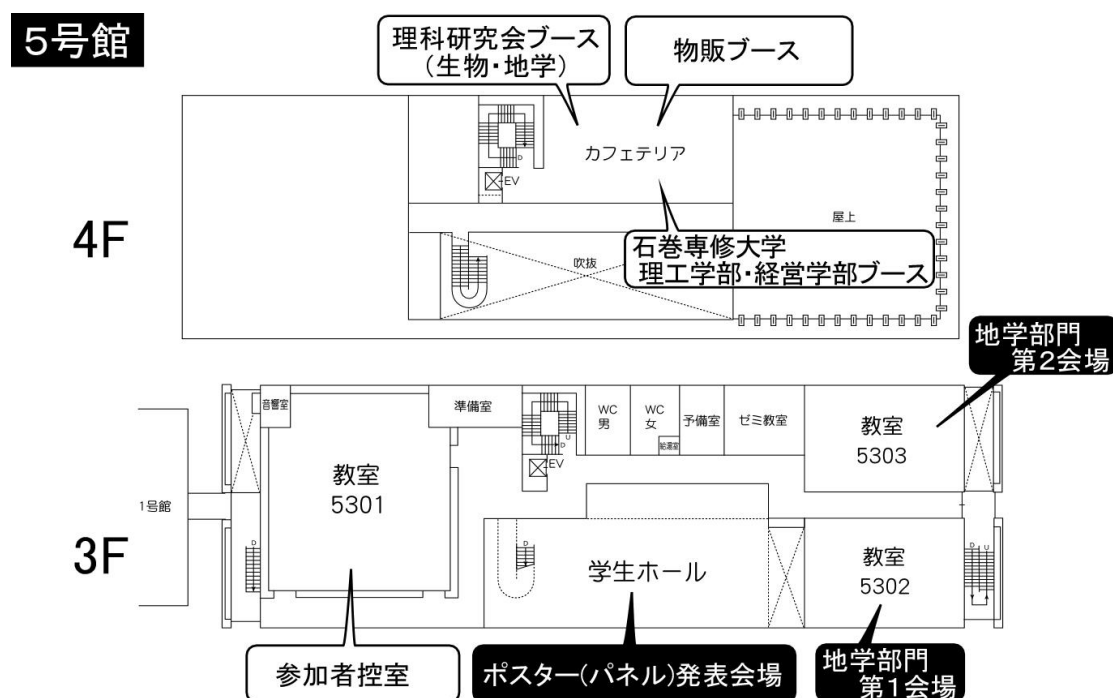
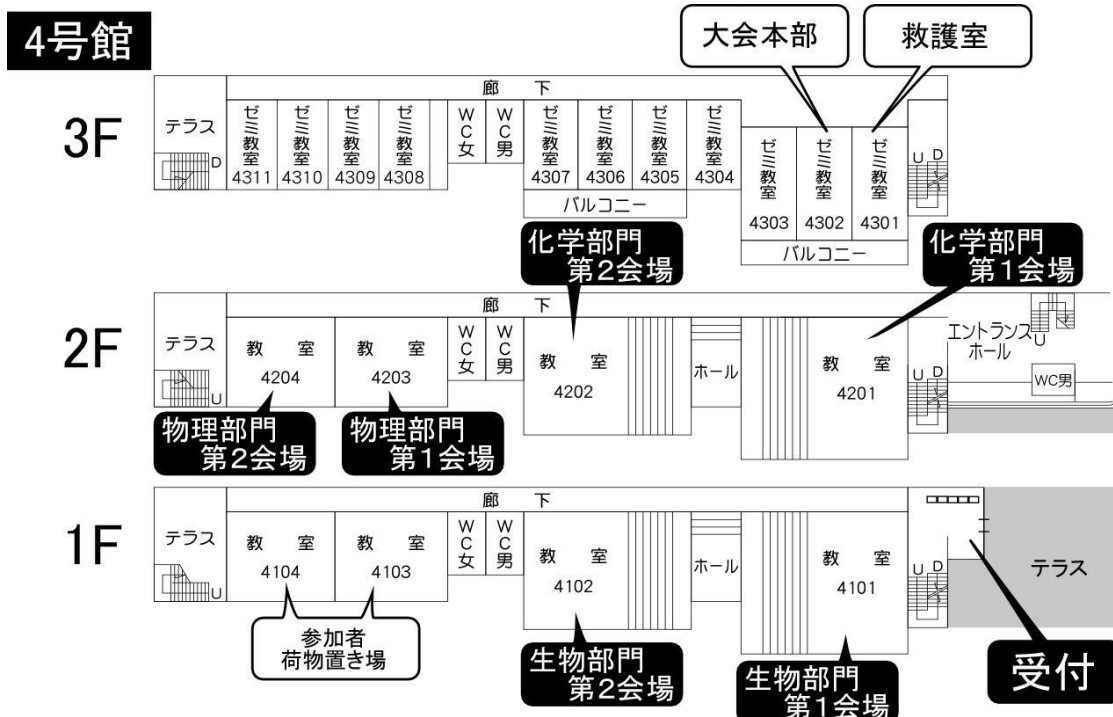
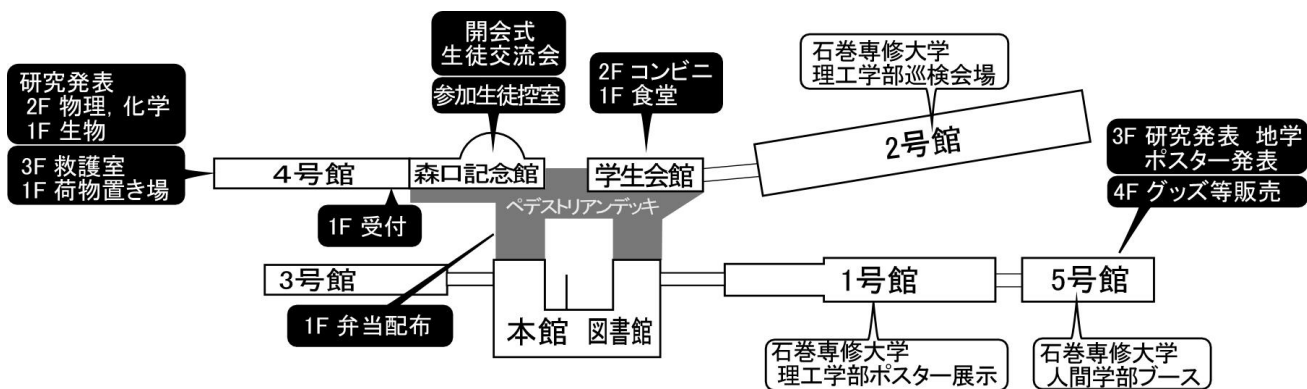
4号館と本館の間の1階テラス（ペデストリアンデッキ下）
保冷車1台から取り出して配布します。
学校単位で受け取りをお願いします。

弁当は昼食時間に食べ，巡検バスの車内で食べないよう，持ち帰ることのないようをお願いします。
弁当のごみは場所を指定して回収します。

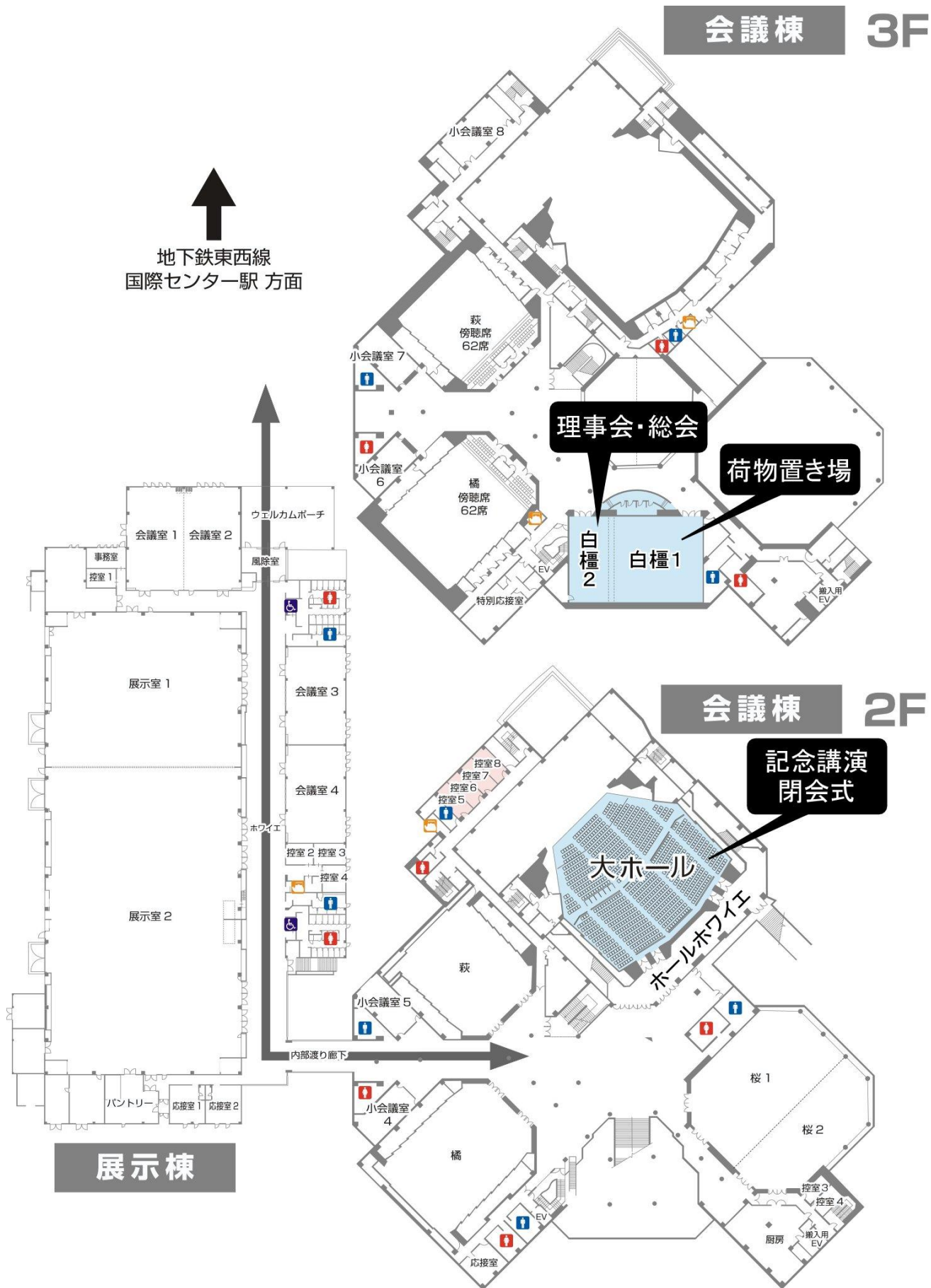
石巻専修大学 会場案内図

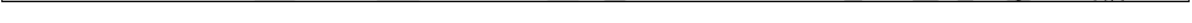


石巻専修大学 会場案内図



仙台国際センター 会場案内図



[illegible]

巡検研修の内容

A-1 東日本大震災被災講演と石巻専修大学理工学部研究室見学

A-2 と共通で、東日本大震災において災害医療に尽力した石巻赤十字病院災害医療研修センター所属の医師による災害医療に関する講演を聴講します。石巻専修大学理工学部福島美智子教授による鉄イオンの濃度を測定して身の回りの鉄分について考える実験講座に40名、佐々木慶文准教授による簡単なプログラムを作成しコンピュータを使って数字の認識やロボットの制御などの知能情報処理を体験する実習講座に5名、それぞれ2時間の実習を行います。実習の後は理工学部の食環境学科、生物科学科、機械工学科、情報電子工学科の研究室紹介ブースを見学します。

A-2 東日本大震災被災講演と日本製紙石巻工場見学

A-1 と共通で、東日本大震災において災害医療に尽力した石巻赤十字病院災害医療研修センター所属の医師による災害医療に関する講演を聴講します。バスで日本製紙石巻工場に移動し、日本で出版される書籍の「本の紙」を供給する工場見学を行います。出版用紙を製造する生産ラインを見学し、次世代の素材として期待されるセルロースナノファイバー（CNF）について学びます。

B-1 東北大学工学部研究室見学

10人程度を1班とし、機械知能・航空工学科、電気情報物理工学科、化学・バイオ工学科、材料科学総合学科、建築・社会環境工学科の5つの学科のうち、2つの研究室を見学します。1つの研究室で1時間程度の枠の中で研究の紹介、設備や機器の見学、大学院生との懇談を行います。

B-2 東北大学理学部研究室見学

全体の学部紹介の後、物理学科の原子核物理研究室（ストレンジネス核物理グループ）、化学科の有機化学第一研究室（植物生物活性天然物のケミカルバイオロジー）及び有機分析化学研究室（天然物合成を含む有機合成化学）、地球物理学科の太陽惑星空間物理学講座（惑星大気物理学分野）の3つの研究室を見学します。

B-3 東北大学薬学部研究室見学

外来ストレスに対する生体防御機構の解明に取り組む生体防御薬学分野、RNA段階での遺伝子発現制御プログラムの解明に取り組む遺伝子制御薬学分野、患者の代謝物情報から最適な薬物療法を選択する分析基盤の構築に取り組むがん化学療法薬学分野、生物活性天然有機化合物の全合成に取り組む反応制御化学分野の4つの研究室を見学します。

B-4 東北大学農学部研究室見学

全体の学部紹介の後、環境適応生物工学分野の鳥山欽哉教授と食品機能健康科学講座の池田郁男教授が、それぞれ30分の模擬講義を行います。総合研究棟見学では、海洋生物科学コースのデモンストレーションがあり、最後に大学院生によるポスター発表と交流を行います。

B-5 東北大学原子分子材料科学高等研究機構（AIMR）研究室見学

高温超伝導体、トポロジカル絶縁体、グラフェンなどの新機能物質の電子構造とその物性発現機構解明を目指す高橋研究室、エネルギー利用のための水素化物の研究を進める折茂研究室、高分子やナノ材料を自己組織化プロセスによって形作り新しい機能材料の創製を目指す藪研究室を見学します。

B-6 東北大学災害科学国際研究所研究室見学

地域・都市再生研究部門 都市再生計画技術分野の研究室のガイドで、石巻市街地の震災被害からの復興状況を見学します。バスで災害科学国際研究所に移動し、災害科学国際研究所の概要説明を受け、災害リスク研究部門 低頻度リスク評価研究分野の研究室を見学します。

C-1 生物フィールドワーク（伊豆沼）

伊豆沼・内沼は、「ラムサール条約」の登録湿地に指定され、国指定鳥獣保護区、国の天然記念物区域及び宮城県自然環境保全地域になっています。宮城県伊豆沼・内沼環境保全財団の研究者が取組んでいる自然保護活動や研究に関連する講義と、伊豆沼という保全の最前線の現場で、生物どうしのつながりを実感する実習を予定しています。

C-2 地学フィールドワーク（石巻・女川 沿岸部）

東日本大震災の津波によって大きな被害を受けた石巻市南浜町で、震災の前と直後、そしてこれからの復興計画について研修します。女川町に移動するバスの中で東北大学災害科学国際研究所の研究者から解説を受けます。女川町では、まちなか交流館ホールで津波に関する講義を聴講します。

C-3 地学フィールドワーク（奥松島縄文村）

奥松島縄文村歴史資料館で、縄文時代の遺跡「里浜貝塚」から出土した縄文土器や骨角器などの解説を受け、里浜貝塚を見学します。縄文村周辺の海蝕地形（ノッチ）を見学し、月浜漁港の松島層と正断層群を観察します。最後に、震災遺構である旧野蒜駅駅舎を見学します。

C-4 地学フィールドワーク（仙台市内地層見学・東北大学自然史標本館）

仙台市青葉区追廻において、竜の口層及び向山層の露頭を見学し、青葉台・東北工業大学グラウンドにて逆断層などを見学し、仙台市の地質の解説を受けます。さらに顕微鏡観察なども加えた巡検を行います。東北大学理学部自然史標本館にて化石、岩石、鉱物の見学をします。

C-5 地学フィールドワーク（仙台市内化石採集）

仙台市泉区焼河原において、今から約 500 万年前（新生代新第三紀鮮新世）に堆積した竜の口層の露頭を観察しながら地質についての解説を受け、竜の口層の貝化石を採集しながら当時の仙台周辺に広がっていた「竜の口の海」について考えます。

巡検研修参加校一覧

A-1 石巻専修大学理工学部

生徒45名 教員11名 計56名

コース	都道府県	学校名	部名	記号	生徒	教員	計
1	A-1	岩手県 岩手県立盛岡第三高等学校	SSコース化学班	化A10	4	2	6
2	A-1	岩手県 岩手県立盛岡第三高等学校	SSコース生物班	生A06	4	0	4
3	A-1	岩手県 岩手県立盛岡第三高等学校	SSコース地学班	地A02	4	0	4
4	A-1	千葉県 千葉県立佐倉高等学校	化学部	化A16	3	1	4
5	A-1	神奈川県 神奈川県立弥栄高等学校	サイエンス部	PA09	3	1	4
6	A-1	京都府 京都府立木津高等学校	科学部	生A08	2	1	3
7	A-1	京都府 京都府立園部高等学校	サイエンス部	PB04	4	1	5
8	A-1	島根県 島根県立松江南高等学校	自然科学部	化A17	4	1	5
9	A-1	島根県 島根県立出雲高等学校	自然科学部生物班	生B10	4	1	5
10	A-1	福岡県 福岡県立香住丘高等学校	物理部	物B11	3	1	4
11	A-1	鹿児島県 鹿児島県立国分高等学校	サイエンス部	物B02	4	1	5
12	A-1	宮城県 宮城県仙台第三高等学校	自然科学部物理班	物B01	1	0	1
13	A-1	宮城県 宮城県仙台第三高等学校	自然科学部物理班	物A13	1	0	1
14	A-1	宮城県 宮城県仙台第三高等学校	自然科学部化学班	化A14	3	0	3
15	A-1	宮城県 宮城県仙台第三高等学校	自然科学部化学班	PB08	1	1	2

A-2 日本製紙石巻工場

生徒37名 教員10名 計47名

コース	都道府県	学校名	部名	記号	生徒	教員	計
1	A-2	茨城県 茗溪学園高等学校	科学部生物班	生B04	4	1	5
2	A-2	茨城県 茨城県立水戸第二高等学校	数理科学同好会	PB10	4	1	5
3	A-2	富山県 富山県立富山中部高等学校	SS(スーパーサイエンス)部	化B08	4	1	5
4	A-2	石川県 石川県立金沢泉丘高等学校	SSH部	生A07	3	1	4
5	A-2	山梨県 山梨県立笛吹高等学校	植物研究部	生A05	2	1	3
6	A-2	長野県 長野県木曽青峰高等学校	化学同好会	化B09	4	0	4
7	A-2	長野県 長野県木曽青峰高等学校	物理同好会	PA10	4	1	5
8	A-2	滋賀県 滋賀県立彦根東高等学校	SS部 化学班	化A06	4	1	5
9	A-2	兵庫県 兵庫県立柏原高等学校	理科部	PA07	4	2	6
10	A-2	佐賀県 佐賀県立佐賀西高等学校	サイエンス部	化A07	4	1	5

B-1 東北大工学部

生徒72名 教員21名 計93名

コース	都道府県	学校名	部名	記号	生徒	教員	計
1	B-1	山形県 山形県立鶴岡南高等学校	科学部	物A18	4	0	4
2	B-1	山形県 山形県立鶴岡南高等学校	科学部	生B12	4	1	5
3	B-1	山形県 山形県立鶴岡南高等学校	科学部	地B07	4	0	4
4	B-1	福島県 福島県立安積黎明高等学校	化学部	化A18	4	1	5
5	B-1	茨城県 茨城県立日立第一高等学校	物理部	物B17	4	1	5
6	B-1	神奈川県 神奈川県立横浜修悠館高等学校	科学部	物B04	4	2	6
7	B-1	石川県 石川県立七尾高等学校	SSC	地A08	3	1	4
8	B-1	石川県 石川県立七尾高等学校	SSC	PB06	4	1	5
9	B-1	滋賀県 滋賀県立河瀬高等学校	科学部	PA17	4	2	6
10	B-1	兵庫県 兵庫県立加古川東高等学校	自然科学部物理班	物B14	3	2	5
11	B-1	広島県 広島県立広島国泰寺高等学校	科学部物理班	物B13	2	1	3
12	B-1	山口県 山口県立柳井高等学校	物理化学部	化B05	2	1	3
13	B-1	山口県 山口県立萩高等学校	科学部	地A07	2	1	3
14	B-1	徳島県 徳島県立脇町高等学校	自然科学部	物A10	3	0	3
15	B-1	徳島県 徳島県立脇町高等学校	自然科学部	生A12	2	1	3
16	B-1	愛媛県 愛媛県立松山南高等学校	SS物理水滴班	物B07	4	1	5
17	B-1	高知県 高知県立高知小津高等学校	地学部	地A18	4	1	5
18	B-1	宮城県 宮城県古川高等学校	総合科学部化学班	化A01	4	1	5
19	B-1	宮城県 仙台市立仙台青陵中等教育学校	科学部	生B01	3	1	4
20	B-1	宮城県 宮城県気仙沼高等学校	自然科学部	地A13	4	1	5
21	B-1	宮城県 宮城県仙台第二高等学校	物理部	PB02	4	1	5

B-2 東北大学理学部

生徒39名 教員16名 計55名

コース	都道府県	学校名	部名	記号	生徒	教員	計	
1	B-2	北海道	立命館慶祥高等学校	自然科学部	物B10	3	1	4
2	B-2	埼玉県	埼玉県立本庄高等学校	生物部	生B07	2	1	3
3	B-2	東京都	筑波大学附属駒場高等学校	化学部	化B06	1	1	2
4	B-2	石川県	石川県立金沢泉丘高等学校	SSH部	化B16	3	1	4
5	B-2	山梨県	山梨県立韮崎高等学校	物理化学部	物B12	2	1	3
6	B-2	山梨県	山梨県立甲府南高等学校	物質化学部	化A08	4	1	5
7	B-2	山梨県	山梨県立韮崎高等学校	生物研究部	PA16	1	1	2
8	B-2	岐阜県	岐阜県立多治見高等学校	科学部	物A06	3	2	5
9	B-2	静岡県	静岡県立浜松北高等学校	物理化学部	PA04	4	1	5
10	B-2	徳島県	徳島県立城南高等学校	科学部化学班	PA06	3	1	4
11	B-2	高知県	高知県立高知小津高等学校	科学部	PB09	2	1	3
12	B-2	福岡県	福岡県立香住丘高等学校	化学部	化A15	2	1	3
13	B-2	佐賀県	佐賀県立唐津東高等学校	科学部	物A03	2	1	3
14	B-2	熊本県	熊本県立第二高等学校	化学部	化B14	3	1	4
15	B-2	大分県	大分県立大分上野丘高等学校	物理部	物A17	2	1	3
16	B-2	大分県	大分県立大分上野丘高等学校	化学部	化A11	2	0	2

B-3 東北大学薬学部

生徒35名 教員13名 計48名

コース			都道府県	学校名	部名	記号	生徒	教員	計
1	B-3	福島県	福島県立磐城高等学校	生物部	PB19	4	1	5	
2	B-3	群馬県	群馬県立前橋女子高等学校	理科部	物A11	3	1	4	
3	B-3	埼玉県	埼玉県立大宮高等学校	自然科学部	化B18	2	1	3	
4	B-3	千葉県	千葉県立船橋高等学校	自然科学部化学班	PB05	2	1	3	
5	B-3	石川県	石川県立小松高等学校	理化部	物B05	4	1	5	
6	B-3	兵庫県	兵庫県立宝塚北高等学校	化学部	化A13	4	2	6	
7	B-3	兵庫県	関西学院高等部	理科部	生A03	2	1	3	
8	B-3	島根県	島根県立島根中央高等学校	自然科学部	物A04	2	1	3	
9	B-3	佐賀県	佐賀県立佐賀西高等学校	サイエンス部	PA01	4	1	5	
10	B-3	長崎県	長崎県立長崎北高等学校	理科部	化B12	2	1	3	
11	B-3	鹿児島県	鹿児島県立鶴丸高等学校	化学部	化B07	2	1	3	
12	B-3	宮城県	宮城県仙台第二高等学校	生物部	生A15	4	1	5	

B-4 東北大学農学部

生徒36名 教員13名 計49名

コース			都道府県	学校名	部名	記号	生徒	教員	計
1	B-4	青森県	青森県立八戸高等学校	自然科学部物理班	物A08	2	1	3	
2	B-4	青森県	青森県立八戸高等学校	自然科学部生物班	生A18	2	0	2	
3	B-4	青森県	青森県立八戸高等学校	自然科学部化学班	PA05	2	0	2	
4	B-4	秋田県	秋田県立秋田高等学校	生物部	生A11	4	1	5	
5	B-4	埼玉県	埼玉県立浦和高等学校	地学部	地A12	2	1	3	
6	B-4	新潟県	新潟県立長岡高等学校	生物部	化B02	1	1	2	
7	B-4	新潟県	新潟県立長岡高等学校	生物部	生A04	1	0	1	
8	B-4	長野県	長野県諏訪清陵高等学校	生物部	生A20	4	1	5	
9	B-4	和歌山県	和歌山県立田辺高等学校	生物部	生B14	2	1	3	
10	B-4	和歌山県	和歌山県立日高高等学校	日高高校生物部	PB18	4	1	5	
11	B-4	佐賀県	東明館高等学校	バイオ同好会	生B05	4	1	5	
12	B-4	熊本県	熊本県立八代清流高等学校	科学部	生B03	2	2	4	
13	B-4	大分県	大分県立佐伯鶴城高等学校	科学部	PB15	2	1	3	
14	B-4	宮崎県	宮崎県立都城泉ヶ丘高等学校	化学部	化B04	2	1	3	
15	B-4	宮城県	宮城県仙台二華高等学校	生物部	生A01	2	1	3	

B-5 東北大学AIMR

生徒37名 教員11名 計48名

コース	都道府県	学校名	部名	記号	生徒	教員	計	
1	B-5	埼玉県	埼玉県立川越高等学校	物理部	物B09	4	1	5
2	B-5	千葉県	千葉県立柏中央高等学校	科学部	生A10	3	1	4
3	B-5	新潟県	新潟県立新発田高等学校	自然科学部物理班	物B15	4	1	5
4	B-5	静岡県	静岡県立清水東高等学校	自然科学部物理班	物A14	3	1	4
5	B-5	京都府	京都府立洛北高等学校	サイエンス部 物理班	物A16	3	1	4
6	B-5	広島県	広島県立広島国泰寺高等学校	科学部化学班	化B15	4	1	5
7	B-5	徳島県	徳島県立富岡東高等学校	化学研究部	化A09	2	1	3
8	B-5	熊本県	熊本県立宇土高等学校	科学部物理班	物A05	4	2	6
9	B-5	鹿児島県	鹿児島県立曾於高等学校	科学部	PA11	2	1	3
10	B-5	宮城県	宮城県仙台第二高等学校	物理部	物A01	4	1	5
11	B-5	宮城県	宮城県仙台第二高等学校	化学部	化B01	4	0	4

B-6 東北大学災害科学国際研究所

生徒30名 教員10名 計40名

コース		都道府県	学校名	部名	記号	生徒	教員	計
1	B-6	北海道	北海道札幌西高等学校	物理研究部	PB03	2	1	3
2	B-6	群馬県	群馬県立高崎女子高等学校	化学部	化B03	2	1	3
3	B-6	千葉県	市川学園市川高等学校	物理部	物A07	3	1	4
4	B-6	東京都	東京都立科学技術高等学校	科学研究部	物A02	3	1	4
5	B-6	静岡県	静岡県立三島北高等学校	科学部	化A04	2	1	3
6	B-6	滋賀県	滋賀県立膳所高等学校	物理地学班	物B18	4	1	5
7	B-6	和歌山県	智辯学園和歌山高等学校	科学部	化B11	4	1	5
8	B-6	和歌山県	智辯学園和歌山高等学校	科学部	地B08	4	1	5
9	B-6	福岡県	福岡県立宗像高等学校	電気物理部	PB20	4	1	5
10	B-6	宮城県	宮城県仙台第三高等学校	自然科学部生物班	PA21	2	1	3

C-1 伊豆沼

生徒66名 教員20名 計86名

コース	都道府県	学校名	部名	記号	生徒	教員	計	
1	C-1	北海道	北海道札幌旭丘高等学校	生物部	生B02	1	1	2
2	C-1	岩手県	岩手県立盛岡第一高等学校	生物部	PA18	3	1	4
3	C-1	秋田県	秋田県立大館鳳鳴高等学校	生物部	PB12	4	1	5
4	C-1	群馬県	群馬県立勢多農林高等学校	フードバイオ研究部	生B13	4	1	5
5	C-1	群馬県	群馬県立利根実業高等学校	生物資源部	PA14	4	1	5
6	C-1	東京都	日本大学豊山女子高等学校	サイエンス部	生A17	4	1	5
7	C-1	東京都	東京都立戸山高等学校	SSH生物	PB14	2	1	3
8	C-1	神奈川県	神奈川県立平塚中等教育学校	科学部生物班	生B15	1	1	2
9	C-1	富山県	富山県立富山中部高等学校	SS(スーパーサイエンス)部	生B16	3	0	3
10	C-1	富山県	富山県立富山中部高等学校	SS(スーパーサイエンス)部	PB13	2	1	3
11	C-1	岐阜県	岐阜県立関高等学校	自然科学部 化学班	化A19	4	1	5
12	C-1	滋賀県	滋賀県立膳所高等学校	生物班	生B09	4	1	5
13	C-1	広島県	広島県立広島国泰寺高等学校	科学部生物班	生A19	4	0	4
14	C-1	広島県	広島県立広島国泰寺高等学校	科学部生物班	PA13	3	1	4
15	C-1	山口県	高川学園高等学校	科学部	生B18	3	1	4
16	C-1	山口県	山口県立徳山高等学校	科学部	PB16	2	1	3
17	C-1	愛媛県	愛媛県立今治西高等学校	生物部	生A13	2	1	3
18	C-1	長崎県	長崎県立長崎北陽台高等学校	生物部	PB11	3	1	4
19	C-1	熊本県	熊本県立東稜高等学校	生物部	PA20	4	1	5
20	C-1	大分県	大分県立大分舞鶴高等学校	科学部生物班	生B19	2	1	3
21	C-1	沖縄県	沖縄県立辺土名高等学校	サイエンス部河川班	化A02	3	1	4
22	C-1	沖縄県	沖縄県立八重山高等学校	生物部	生A16	4	1	5

C-2 石巻・女川

生徒91名 教員31名 計122名

	コース	都道府県	学校名	部名	記号	生徒	教員	計
1	C-2	北海道	北海道旭川東高等学校	化学部	化A03	4	1	5
2	C-2	青森県	青森県立黒石高等学校	自然科学部	化B13	4	2	6
3	C-2	福島県	福島県立会津学鳳高等学校	SSH探求部	物A15	3	1	4
4	C-2	福島県	福島県立会津学鳳高等学校	SSH探求部	生B08	4	1	5
5	C-2	東京都	海城高等学校	地学部	地B16	2	2	4
6	C-2	新潟県	新潟県立柏崎高等学校	生物部	PA12	3	1	4
7	C-2	富山県	富山県立富山東高等学校	科学部	物A12	2	1	3
8	C-2	富山県	富山県立上市高等学校	科学部	地B06	3	1	4
9	C-2	長野県	長野県飯山高等学校	自然科学部	地A15	4	1	5
10	C-2	岐阜県	岐阜県立岐阜高等学校	自然科学部生物班	PB17	4	2	6
11	C-2	静岡県	静岡県立掛川西高等学校	自然科学部	生B06	4	2	6
12	C-2	静岡県	静岡県立磐田南高等学校	地学部	地B17	2	1	3
13	C-2	京都府	京都府立桃山高等学校	グローバルサイエンス部	化B17	4	1	5
14	C-2	京都府	京都府立桃山高等学校	グローバルサイエンス部	地B09	4	2	6
15	C-2	兵庫県	兵庫県立三田祥雲館高等学校	天文部	地B11	4	1	5
16	C-2	和歌山県	和歌山信愛高等学校	科学部	物B06	3	1	4
17	C-2	島根県	島根県立益田高等学校	自然科学部	PB07	4	1	5
18	C-2	福岡県	福岡県立東筑高等学校	生物部	生B17	2	1	3
19	C-2	福岡県	東筑紫学園高等学校	理科部	地A04	4	1	5
20	C-2	佐賀県	佐賀県立佐賀北高等学校	地学部	地B14	2	1	3
21	C-2	長崎県	長崎県立西陵高等学校	科学部	物B08	3	1	4
22	C-2	長崎県	長崎県立長崎南高等学校	土橋バイオグループ	生A02	3	1	4
23	C-2	宮崎県	宮崎県立福島高等学校	科学部	生B11	4	1	5
24	C-2	鹿児島県	鹿児島県立国分高等学校	サイエンス部	生A09	4	1	5
25	C-2	沖縄県	昭和薬科大学附属高等学校	科学部	PA08	3	1	4
26	C-2	宮城県	宮城県宮城第一高等学校	地学部	地A01	4	0	4
27	C-2	宮城県	宮城県宮城第一高等学校	地学部	PA02	4	1	5

C-3 奥松島縄文村

生徒34名 教員11名 計45名

コース	都道府県	学校名	部名	記号	生徒	教員	計	
1	C-3	山形県	山形県立米沢興譲館高等学校	コアスーパーサイエンスクラブ	化A05	4	1	5
2	C-3	山形県	山形県立米沢興譲館高等学校	コアスーパーサイエンスクラブ	PA15	4	1	5
3	C-3	千葉県	千葉県立佐倉高等学校	天文気象部	地B05	2	1	3
4	C-3	新潟県	新潟県立新潟中央高等学校	地学部	地A09	3	1	4
5	C-3	岐阜県	岐阜県立八百津高校・岐阜県立加茂高校	自然科学部	生A14	4	2	6
6	C-3	滋賀県	滋賀県立米原高等学校	地学部	地A03	4	2	6
7	C-3	愛媛県	愛媛県立宇和島東高等学校	宇和島東高校Oyster Girls	化B10	3	1	4
8	C-3	愛媛県	愛媛県立宇和島東高等学校	宇和島東高校チーム マグマ	地B03	4	0	4
9	C-3	愛媛県	愛媛県立宇和島東高等学校	生物部	PA19	2	0	2
10	C-3	大分県	大分県立三重総合高等学校	自然科学部	地B02	2	1	3
11	C-3	沖縄県	沖縄県立球陽高等学校	SS物理クラブ	物B16	2	1	3

C-4 竜の口層露頭

生徒29名 教員9名 計38名

コース	都道府県	学校名	部名	記号	生徒	教員	計	
1	C-4	青森県	青森県立青森南高等学校	自然科学部	地B10	3	2	5
2	C-4	茨城県	茨城県立水戸第一高等学校	化学部	化A12	2	1	3
3	C-4	埼玉県	埼玉県立坂戸高等学校	科学部	PA03	2	1	3
4	C-4	山梨県	山梨県立都留高等学校	地球物理部	地A10	2	1	3
5	C-4	長野県	長野県駒ヶ根工業高等学校	サイエンス同好会	物B03	4	1	5
6	C-4	熊本県	熊本県立済々黉高等学校	地学部	地B12	4	1	5
7	C-4	宮崎県	宮崎県立都農高等学校	天文科学部	物A09	3	1	4
8	C-4	鹿児島県	鹿児島県立国分高等学校	サイエンス部	地A11	4	1	5
9	C-4	沖縄県	沖縄県立名護高等学校	生物・化学、物理・地学部	地A17	4	1	5

C-5 焼河原化石採集

生徒31名 教員10名 計41名

	コース	都道府県	学校名	部名	記号	生徒	教員	計
1	C-5	北海道	北海道札幌藻岩高等学校	フィールドサイエンス部	地B15	4	1	5
2	C-5	福島県	福島県立磐城高等学校	天文地質部	地A05	4	1	5
3	C-5	茨城県	茨城県立並木中等教育学校	科学研究部	地A16	2	1	3
4	C-5	群馬県	群馬県立太田女子高等学校	理科学研究部	地A06	4	1	5
5	C-5	岐阜県	岐阜県立岐山高等学校	地学物理部	地B04	4	1	5
6	C-5	島根県	島根県立松江北高等学校	自然科学部	地B13	4	1	5
7	C-5	宮崎県	宮崎県立五ヶ瀬中等教育学校	環境科学	地A14	2	1	3
8	C-5	宮崎県	宮崎県立五ヶ瀬中等教育学校	数理工学	PB01	4	1	5
9	C-5	宮城県	宮城県仙台西高等学校	地学部	地B01	4	1	5

巡検研修バス運行表

巡検研修バス 運行表

	集合・点呼	出発時刻	目的地1		目的地2		目的地3		目的地4	
			着	発	着	発	着	発	着	発
A-1	石巻専修大									
	大型バス1台	17:05		仙台駅東口						
				18:45						
A-2	日本製紙									
	大型バス1台	13:40		日本製紙石巻工場		仙台駅東口				
				14:30	16:40	18:20				
B-1	東北大学工学部									
	大型バス2台	12:00		東北大学工学部		仙台駅東口				
				14:00	17:00	17:30				
B-2	東北大理学部									
	大型バス1台	12:00		東北大理学部		仙台駅東口				
				14:00	17:00	17:30				
B-3	東北大学薬学部									
	大型バス1台	12:00		東北大学薬学部		仙台駅東口				
				14:00	17:00	17:30				
B-4	東北大学農学部									
	大型バス1台	12:00		東北大学農学部		仙台駅東口				
				14:00	17:00	17:30				
B-5	東北大学AIMR									
	大型バス1台	12:00		東北大学AIMR(片平)		仙台駅東口				
				14:00	17:00	17:30				
B-6	東北大学災害研									
	大型バス1台	12:00		石巻駅前		東北大学災害研		仙台駅東口		
				12:40	13:40	15:20	17:00	17:30		
C-1	伊豆沼									
	大型バス2台	11:50		伊豆沼		仙台駅東口				
				13:30	17:10	18:40				
C-2	石巻・女川									
	大型バス4台	11:50		石巻市南浜町		女川町ハマテラス		仙台駅東口		
				12:40	14:10	14:50	16:50	18:30		
C-3	奥松島縄文村									
	大型バス1台	12:00		奥松島縄文村		月浜		野蒜駅遺構	仙台駅東口	
				13:20	14:50	15:00	15:45	16:00	16:40	17:30
C-4	竜の口層露頭									
	大型バス1台	11:50		仙台市青葉区追廻		東北大自然史標本館		青葉台・東北工業大学	仙台駅東口	
				14:00	14:40	14:50	15:40	16:00	17:20	18:00
C-5	焼河原化石採集									
	大型バス1台	11:50		焼河原		仙台駅東口				
				14:00	17:00	18:00				

緊急時対応マニュアル（参加者の皆様へ）

I 大会参加にあたっての留意事項

1 健康（体調）管理に十分気をつけてください。

- （１）体調を十分に整えて参加してください。
- （２）夏は高温多湿のため、「熱中症」「食中毒」が発生しやすい時期ですので、十分注意してください。
- （３）救護所に内服薬は置いていません。日頃服用している常備薬は、必ず持参してください。
- （４）引率者は、参加生徒の健康状態を把握しておいてください。
※特にアレルギー、心臓疾患等の体質・症状など
また、大会期間中は、朝食時等に参加生徒の健康観察を行ってください。
- （５）医療機関での受診費用は本人負担です。なお、健康保険証がない場合は、原則として医療費全額が実費負担となります。
- （６）感染症（インフルエンザや麻疹など）の予防のため、屋外から宿舎に戻った時や飲食の前に手洗い、うがいを行いましょう。また、感染症の疑いがある場合は、直ちに引率者に相談し、適切な対応をとってください。

2 貴重品・手荷物は自己管理してください。

貴重品・手荷物は自己管理してください。緊急時に備え、常にまとめておきましょう。

3 自然災害に備えましょう。

- （１）注意報、警報等の気象情報については、テレビ、ラジオ、携帯電話等で早めに把握しておいてください。
- （２）災害時の安否確認
地震などの大きな災害発生時に、被災地等への安否確認のため、下記のサービスが利用できます。詳しくは各電話会社に確認してください。
 - ①災害用伝言板サービス（携帯電話）
携帯電話会社各社より提供されています。
 - ②災害用伝言ダイヤル「171」（一般電話、公衆電話）
NTTより提供されています。
URL：<https://www.ntt-east.co.jp/saigai/voice171/>

II 緊急時の連絡体制

1 連絡手段等

（１）「みやぎ総文2017」大会公式ホームページへの情報掲載

右にあるQRコードを読み取るか、下記のURLから大会公式ホームページに接続し、トップページの「お知らせ」で情報を入手してください。

大会公式ホームページ <http://www.miyagi-soubun.jp/>
（または **みやぎ総文2017** で検索）

（QRコード）



(2) 緊急連絡先（総括本部）

第41回全国高等学校総合文化祭宮城県実行委員会

TEL：022-211-3883 FAX：022-211-3829

※大会期間中の夜間の緊急連絡先は、大会公式ホームページで確認してください。

2 開催計画変更時の対応

当日の部門大会 開始時刻の繰り 下げの場合 (開始時刻未定等)	宿舍又は自宅 にいる場合	①部門大会開催情報が更新されるまでは、原則として、宿舍又は 自宅で待機してください。 ②警報などが解除され、当日の開催を決定した時点で、大会公式 ホームページ等で連絡します。
	移動中の場合	原則として、宿舍又は自宅に戻ることとしますが、移動の状況 により、引率者が、戻るか会場に向かうかを判断してください。
	会場にいる場合	部門責任者の指示に従い、速やかに行動してください。
当日の部門大会終了時刻の繰り上げが 決定された場合		部門責任者の指示に従い、速やかに行動してください。
当日の部門大会が開催中止となった場合		特に連絡のない限り、宿舍又は自宅で待機してください。開催 会場は、原則として開場しません。

※当日の部門大会開催情報は随時更新されますので、大会公式ホームページの「お知らせ」の閲覧
などにより、最新情報の入手に努めてください。なお、宿泊等サポート室配宿の宿舍、会場最寄
り駅に設置する案内所にも、部門大会開催情報などを掲示します。

3 医療救護体制

① 会場における救護

各会場には救護所を設置しています。大会開催中、救護所には養護教諭又は看護師を配置
し、体調不良やけがをした参加者等に対して応急処置を行います。

なお、医療機関での診療等が必要な場合は、医療機関を紹介するほか、緊急を要する場合
は、救急車の出動要請を行いますので、引率者は必ず同行してください。

※（別紙）救護体制（各会場）①のフロー図を参照

② 宿舍等での対応

宿舍等で傷病者が発生した場合、引率者は必要に応じ、救急車の出動要請や医療機関での
受診等を行うようにしてください。いずれの場合も引率者は必ず同行してください。

※軽度の傷病を除き、総括本部への緊急連絡をお願いします。

※（別紙）救護体制（宿舍等）②のフロー図を参照

③ 医療機関の検索

医療機関については、「宮城県医療機能情報提供システム（みやぎのお医者さんガイド）」
等で検索できます。（次ページ参照）

なお、受診される場合は、必ず医療機関に確認の電話を入れ、症状を伝えてください。

④ 医療機関受診後の報告

医療機関受診後は、引率者が「受診報告書」に必要事項を記入の上、救護所又は総括本部

へ提出してください。

4 不審者、不審物への対応

- ① 不審者、不審物を発見した場合は、直ちに近くの運営スタッフにお知らせください。
- ② 身の安全を第一に考えて行動してください。不審者に対しては無理に立ち向かおうとせず、大声で応援を呼んでください。
また、不審物には触れないようにお願いします。

「宮城県医療機能情報提供システム（みやぎのお医者さんガイド）」

（医療機関の検索方法）

- 1 下記のURLから接続する。

携帯電話 <http://medinf.mmic.or.jp/>

パソコン <http://medinf.mmic.or.jp/index.html>

（または みやぎのお医者さんガイド で検索）

- 2 トップページから検索

診療科目と所在地 ：診療科目、市区町村を選択（チェック）して検索

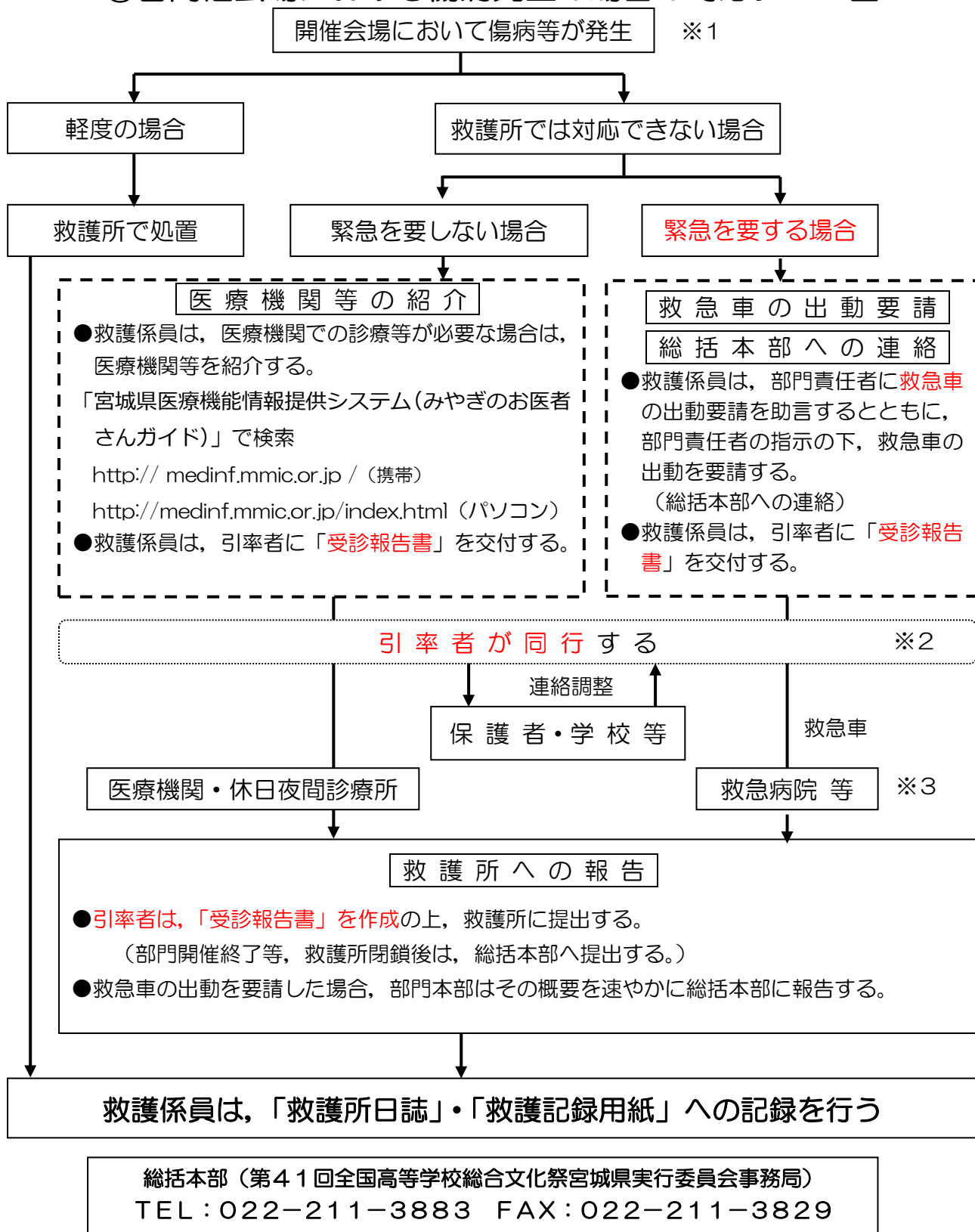
休日当番医情報 ：所在地区を選択して検索

急な症状や困った時では、「外傷」、「頭、胸、お腹の強い痛み」、「特別な外傷、やけど」等の症状に応じた医療機関の検索も可能です。

※必ず医療機関に御確認の上、受診してください。

救護体制（各会場）

①各開催会場における傷病発生の場合の対応フロー図



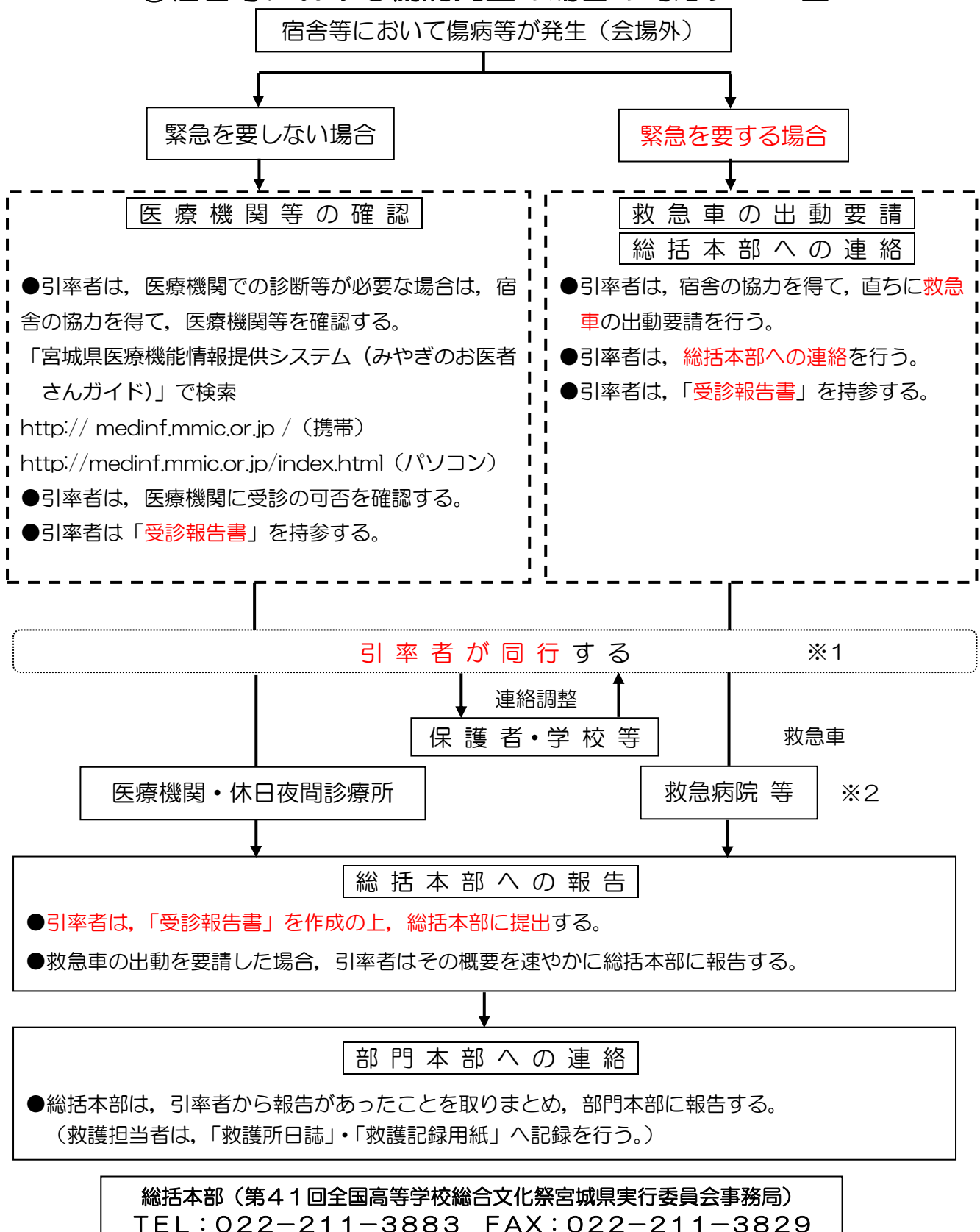
※1 特に緊急を要する場合は、発見者、救護係員等が直接救急車の出動を要請します。

※2 会場（救護所）から医療機関、休日夜間診療所への移送は、引率者が必ず同行してください。

※3 医療機関における医療費は、受診者が負担してください。受診者が健康保険証を携行していない場合、原則として医療費は全額負担となります。

救護体制（宿舎等）

②宿舎等における傷病発生の場合の対応フロー図



※1 宿舎から医療機関、休日夜間診療所への移送は、引率者が必ず同行してください。

※2 医療機関における医療費は、受診者が負担してください。受診者が健康保険証を携行していない場合、原則として医療費は全額負担となります。

受 診 報 告 書

<総括本部>

第41回全国高等学校総合文化祭宮城県実行委員会 宛て
(TEL 022-211-3883 FAX 022-211-3829)

部 門 名 : _____

報告者氏名 : _____

下記の者が医療機関において、診療を受けましたので報告します。

都道府県名		傷病者区分 (○を付ける)	参加生徒・引率教員・運営生徒 運営教員・その他()
(ふりがな) 傷 病 者 名		生年月日	年 月 日 生
		性別／学年	男 ・ 女 ／ 年
学 校 名	電話 () -		
宿 舎 名	電話 () -		
症 状			
医療機関名			
受診日時	月 日 午前・午後 時 分	傷病発生場所／ 救急搬送の有無	会場・宿舎・()／ 救急搬送 ・ それ以外
受診結果			
その他特記事項			

《記入上の注意》

- ①症状はできるだけ詳しく記入してください。
- ②実行委員会が当該傷病者の個人情報収集することは、参加時に了承済みです。

【会場（救護所）からの救急搬送、医療機関等への移送の場合】

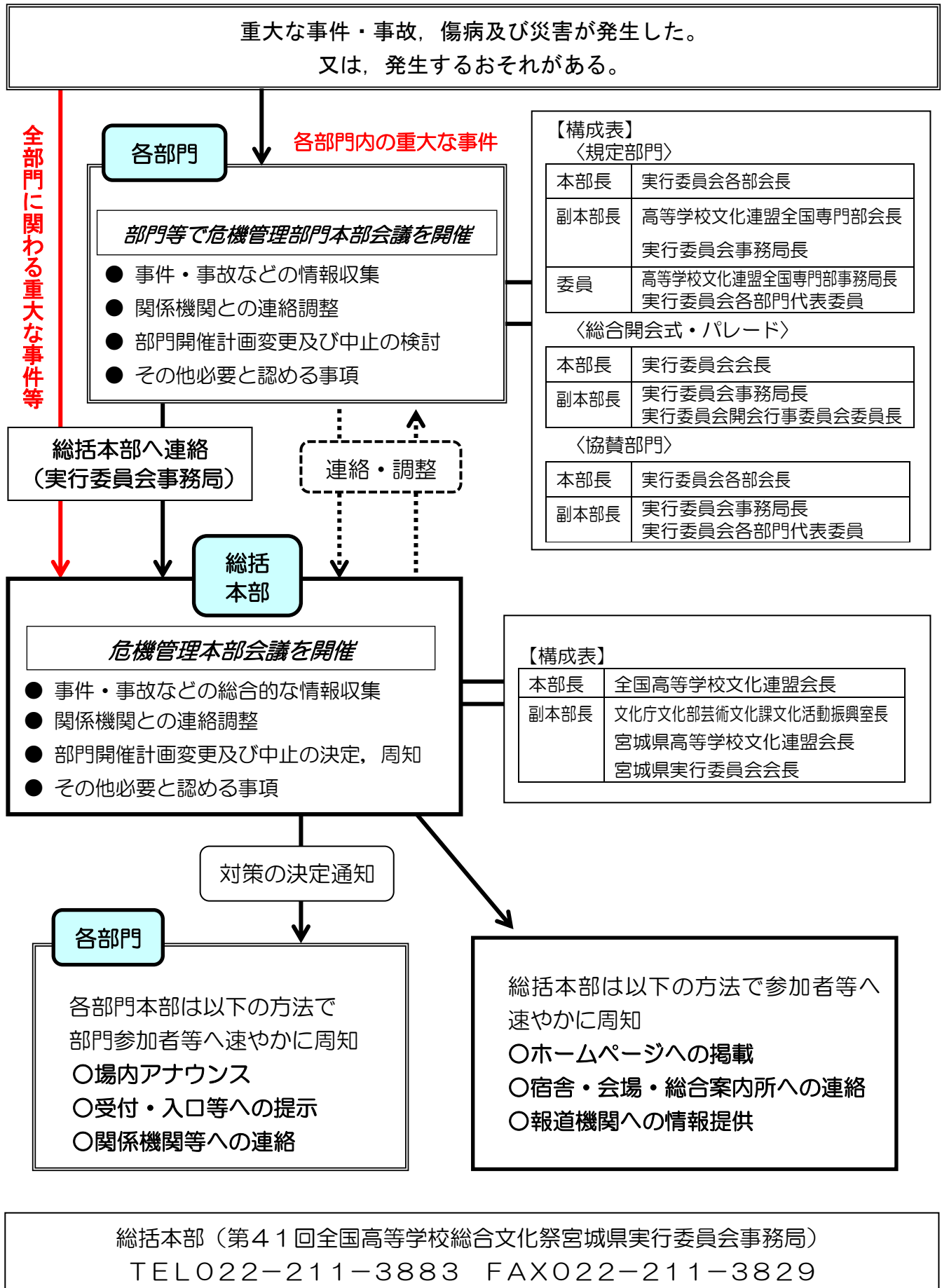
- ①引率者は「受診報告書」様式を救護所で受け取ってください。
- ②医療機関受診後、受診報告書に必要事項を記入し、会場に戻った際に救護所に提出してください。救護所の閉鎖時または直接宿舎等に帰った場合は、総括本部（実行委員会事務局）へFAXで提出してください。なお、救急車の出動を要請した場合は、受診結果を速やかに総括本部に電話で連絡してください（夜間の場合は総括本部緊急連絡先へ）。

【宿舎からの救急搬送、医療機関等への移送の場合】

- ①引率者は、「部門実施要領」中の「受診報告書」様式をコピーして使用してください。なお、大会ホームページの各部門ページに「部門実施要領」を掲載しています。
- ②医療機関受診後、受診報告書に必要事項を記入し、総括本部（実行委員会事務局）へFAXで提出してください。なお、救急車の出動を要請した場合は、受診結果を速やかに総括本部に電話で連絡してください（夜間の場合は総括本部緊急連絡先へ）。

*この用紙は部門全日程終了後、部門責任者が救護所日誌、救護記録用紙とまとめて総括本部に提出してください。

《緊急時の対応フロー図》



参加者の皆さんへ

第41回全国高等学校総合文化祭（みやぎ総文2017）における個人情報の取扱いについて

- 第41回全国高等学校総合文化祭への参加申込書を提出された方の個人情報については、次のとおり取り扱うことになりますので御了承ください。
- なお、この取扱いは、準備活動、練習、広報PR活動、開催日における運営等、関連行事の全てが対象となります。

1 個人情報の内容

- (1) 参加者の氏名、学校名、学年及び性別
- (2) 入賞、入選等の表彰結果等
- (3) 参加者及び作品の写真、映像等

2 個人情報の利用目的

- (1) プログラム、部門作品集等への掲載
- (2) 実施要領、運営要領等の運営に関する資料への掲載
- (3) 展示キャプション等の掲示
- (4) 会場内アナウンス等
- (5) 実行委員会ホームページ、記録集、記録DVD等記録関係資料への掲載
- (6) 報道機関等への提供（テレビ、ホームページ、新聞、雑誌等に写真や映像が使用されることがあります。）

3 個人情報の適正管理

取得した個人情報を前記に掲げる利用目的以外に使用することはありません。ただし、緊急の場合、医療機関等との間で個人情報を提供又は収集することがあります。

4 その他

- (1) 演奏、演技、展示、競技等の様子について、実行委員会事務局の許可を得た業者が撮影を行うことがあります。
- (2) 個人情報の取扱いについて御不明な点があれば、実行委員会事務局にお問い合わせください。

お
問
合
せ
先

第41回全国高等学校総合文化祭宮城県実行委員会事務局
〒980-8423 宮城県仙台市青葉区本町三丁目8番1号
宮城県教育庁全国高校総合文化祭推進室内
TEL：022-211-3883 FAX：022-211-3829
ホームページアドレス：<http://www.miyagi-soubun.jp/>